

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2026年度 第1回 キャリア委員会
議事次第

開催日時：2026年4月30日（木）15:00～16:30

開催場所：神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス D号館3階 アクティブスタジオ

委員校：神戸学院大学（委員長校）

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学
甲南大学、神戸大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学
宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

計21校

I. 報告事項

1. 2026年度キャリア委員会委員校について (資料1)
2. ひょうご留学生インターンシップ2026について (資料2)

II. 協議事項

1. 2026年度キャリア委員会事業計画（案）について (資料3)
 - ① 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業への就職率向上促進プログラム
 - ③ 県内企業・団体等の魅力を情報発信
 - ④ ひょうご留学生インターンシップ
 - ⑤ 「尼崎市」留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）
 - ⑥ 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業

III. 懇談事項

1. 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」について (資料4)
2. その他

IV. 連絡・調整事項

1. 2026年度定時総会について
 - ・日時：6月1日（月）15時00分～16時30分
2. 2026年度キャリア委員会の開催予定と主な議題について
 - ・第2回（9月）：2026年度タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
 - ・第3回（12月）：2026年度事業自己評価（案）について
 - ・第4回（翌2月）：2027年度事業計画・予算（案）について
 - ・第5回（翌3月）：2026年度事業報告・決算について
3. 「大学コンソーシアムひょうご神戸設立20周年記念式典・懇親会」について

以上

<資料一覧>

- 【報告事項1】資料1-1：2026年度キャリア委員会名簿
【報告事項1(参考)】資料1-2：事業委員会の運営に関する申し合わせ
【報告事項2】資料2-1：【加盟校向け】ひょうご留学生インターンシップ実施マニュアル
【報告事項2】資料2-2：ひょうご留学生インターンシップ受入企業について
【協議事項1】資料3-1：2026年度キャリア委員会 事業計画 詳細（案）①～⑥
【協議事項1(参考)】資料3-2：2026年度キャリア委員会 事業予算
【協議事項1】資料3-3：尼崎市インターンシップ等推進事業委託仕様書
【協議事項1】資料3-4：「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業チラシ
【懇談事項1】資料4-1①：R8地元就職促進事業仕様書
【懇談事項1(参考)】資料4-1②：第5回キャリア委員会 議事録

【懇談事項Ⅰ】資料4-1③：2023～2026年度企業課題解決プログラムの実績について

【懇談事項Ⅰ】資料4-1④：2025年度_テーマ型企業理解プログラム

【懇談事項Ⅰ(参考)】資料4-2①：2025年度兵庫県受託事業「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」仕様書・報告書

【懇談事項Ⅰ(参考)】資料4-3②：2025年度尼崎市「インターンシップ等推進事業」仕様書・報告書

【懇談事項Ⅰ(参考)】資料4-3③：2025年度兵庫県受託事業「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」仕様書・報告書

【2026年度 第1回 キャリア委員会出席者名簿】

委員長校:神戸学院大学

副委員長校:関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学

出席:18校22名/21校(出席率 85%)

青色が参加大学・参加者です

連番	法人名	学校名	所属	役職	委員	所属	役職	委員(事務)	その他参加者	役職	氏名
1	学校法人 芦屋学園	芦屋大学	就職課	課長	吉岡 智也	就職課		吉田 育子	※どちらか1名がご出席		
2・3	学校法人 大手前学園	大手前大学・大手前短期大学	大手前大学 経営学部	教授	伊藤 宗彦	キャリアサポート室	室長	久保 和也			
4	学校法人 濱名山手学院	関西国際大学	経営学科	教授	杉林 弘仁				(代理)キャリア支援課	副課長	高橋 博樹
5	学校法人 関西金光学園	関西福祉大学	社会福祉学部	教授	谷口 泰司	キャリア開発課	課長代理	立川 晴道			
6・7	学校法人 関西学院	関西学院大学・関西学院短期大学	キャリアセンター	キャリアセンター副長	松本 雄一	キャリアセンター	キャリアセンター長	小浪 陽子			
8	学校法人 甲南学園	甲南大学	キャリアセンター	所長	平野 恭平	キャリアセンター	次長	天羽 麻由子			
9	学校法人 甲南女子学園	甲南女子大学	キャリアセンター	キャリアセンター長	三宅 肇	キャリアセンター	キャリアセンター事務部長	松井 小枝子			
10	国立大学法人 神戸大学	神戸大学	学務部学生支援課キャリア支援事務室	室長	井上 善晴	キャリアセンター	政策研究職員	田中 美恵			
11	学校法人 神戸学院	神戸学院大学	キャリアセンター	所長	井上 善博	キャリアセンター キャリア支援グループ	グループ長	岸本 和美	(陪席)キャリアセンター	部長	住本 美保子
12	学校法人 八代学院	神戸国際大学	キャリアセンター	キャリア教育・支援部長	向田 靖	教学センター	事務部長代理	中山 貴史	(代理)キャリアセンター		田辺 善博
13	神戸市公立大学法人	神戸市外国語大学	キャリアサポートセンター	所長	石川 浩	キャリアサポートセンター	副所長	羽口 建			
14	学校法人 松蔭女子学院	神戸松蔭大学	キャリアセンター	センター長	作田 はるみ	キャリア支援課	課長	藤部 千栄子			
15	学校法人 親和学園	神戸親和大学	キャリアセンター	センター長	猪田 裕子	キャリアセンター	課長	宮内 由佳	(代理)キャリアセンター事務室	主任	實安 恭子
16	学校法人 玉田学園	神戸常盤大学	こども教育学科	教授	橋本 好市	学生支援課	課長	立石 昭			
17	学校法人平成医療学園	宝塚医療大学	学長企画室	室長	中塚 克浩				(代理)観光学部	准教授 特任教授	山口 一弥 有澤 恒夫
18・19	学校法人 睦学園	兵庫大学・兵庫大学短期大学部	教育学部学生支援課	教育学部事務次長 兼 学生支援課長	春岡 和幸						
20	兵庫県公立大学法人	兵庫県立大学	兵庫県立大学	副学長	坂下 玲子	教育企画部教育企画課	次長兼課長	大河内 理恵子	(代理)本部 事務局教育企画部	就職支援コーディネーター	片山 裕司
21	学校法人 中内学園	流通科学大学	人間社会学部 人間健康学科	准教授(キャリア教育担当)	前川 明	キャリア支援部	次長	竹田 欣志			

事務局

部署	役職	氏名
国際交流・キャリアチーム	次長	鈴木 真紀子
国際交流・キャリアチーム	事務局員	園田 友紀子

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下「コンソ」という。）定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則 2 名（教員 1 名、職員 1 名）。
- (2) 毎年度、第 1 回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

- ① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選択制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則と

して、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。

②選択制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。

③1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

4. 事業委員会の任務

(1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告（自己評価）を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

(1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。

(2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件（定足数）

(1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。

(2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。

(3) 「委任状」の制度は用いない。

(4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

(1) 正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

(1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。

(2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告（自己評価）を行う。

(3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

(1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局（委員長校・副委員長校）が連携して行う。

10. 改廃

この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

- (1) この申し合わせは、2022年4月1日から改正施行する。
- (2) 「3. 委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から改正施行する。

附則

- (1) この申し合わせは、2026年4月1日から改正施行する。
- (2) 2023年4月1日から施行した「3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法」に規定した次の経過措置は、期間満了により削除した。
 - ① 委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
 - ② 委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間（2023年度～2025年度）とする。
 - ③ 2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

以 上

加盟校用

大学コンソーシアムひょうご神戸

ひょうご留学生インターンシップ

2026年度 実施マニュアル

2026年度 ひょうご留学生インターンシップ スケジュール (加盟校)

募集

4月～5月 チラシやメール、ガイダンス等で留学生に周知

4月15日(水) オンライン説明会を開催

4月28日(火) 事務局HPにて受入企業(団体)情報公開

5月24日(日)【留学生】参加申込締切

※留学生の参加申込に向けたサポートをお願いいたします

6月2日(火) 【留学生】参加申込者対象ガイダンス

6月6日(土) 留学生と受入企業との交流会&エントリー ※ご出席をお願いいたします

留学生が第1希望の企業に『エントリーシート』を提出

⇒交流会当日～6月下旬までに選考・受入可否の決定・結果を共有いたします

7月～8月上旬 事前訪問の日程等調整(事務局)

※ 日程を共有しますので、ご対応可能な範囲で事前訪問への同行をお願いします

※ 留学生の保険加入状況の確認

※ 学内で実施するキャリアセミナー等への参加を案内

事前訪問にてインターンシップが決定した留学生に「目標設定シート」作成の指導をお願いいたします

実習

8月～9月上旬 インターンシップ実習

実習後

9月26日(土) 成果報告会

※ご出席をお願いいたします

プログラム① 留学生による成果発表・留学生、企業、加盟校教職員と交流会

プログラム② 企業と加盟校教職員との情報交換会/留学生は事後研修

プログラム③ 修了証書授与式

1. インターンシップ受入の流れ

1. 留学生への広報

3月～4月 (マニュアルP.27)

2. 参加申込(WEB登録)時のフォロー

4月～5月 (マニュアルP.28)

3. 参加申込者対象ガイダンス、受入企業と留学生の交流会&エントリーへの参加

6月2日(火)、6月6日(土) (マニュアルP. 29)

4. 留学生のエントリー方法について

6月6日(土) (マニュアルP.30)

5. 受入手続き

7月～8月上旬 (マニュアルP.31-P32)

6. インターンシップの実施

8月上旬～9月 (マニュアルP.32)

7. 成果報告会への参加

9月26日(土) (マニュアルP.33)

1. 留学生への広報

① 留学生への広報

◎ プログラムの周知

- ・ チラシの掲示・配布やメール配信、学内で実施されるガイダンス等でのアナウンス、本プログラムの周知にご協力をお願いいたします
- ・ 各加盟校で開催される留学生向けガイダンスなどがありましたら、事務局スタッフが当プログラムについて説明にまいります。日程等、事務局までご相談ください

◎ オンライン説明会の周知

本プログラムの特徴や参加のメリットを紹介するオンライン説明会を開催します
オンデマンドでも配信しますが、参加を希望する留学生は、特別な事情がない限り、
オンライン説明会に参加するようお声がけください

【留学生】オンライン説明会の参加申込

オンライン説明会: 4月15日(水)18:00~19:00

オンデマンド視聴可能期間: 4月16日(木)~5月24日(日)

オンライン説明会の申込 : 右記QRコードからお申込み可能です
<https://ws.formzu.net/fgen/S921199/>



2. 参加申込時のフォロー ～WEB登録からエントリーまで～

①プログラムへのWEB登録時のフォロー

留学生は参加申込にあたり、WEB登録フォームで現在までの学歴や職歴、スキル(語学やビジネス系ソフト、デザイン・動画編集系ソフト、プログラミング言語など)、インターンシップ参加の動機、自己PRなどの入力が必要です

WEB登録フォームの内容が企業エントリーシートに反映されます。インターンシップ受入の重要な判断材料になりますので、登録する際にアドバイス等のサポートをお願いいたします

留学生の申込方法:事務局HPからWEB登録すると申込完了となります

申込期限:5月24日(日)

※加盟校に所属する留学生がWEB登録を行うと、ご担当者宛にシステムから登録内容を共有するメールが送信されます
留学生の申込状況を確認し、学内での広報や個別アドバイス等のご対応をお願いいたします

3. 参加申込者対象ガイダンス、企業と留学生の交流会&エントリー参加の周知

- ① 参加申込者対象ガイダンス ※ ①と②は必ず参加するように留学生へのご案内をお願いします

日時:6月2日(火)18:00~20:40

参加申込をした留学生:必須

会場:兵庫国際交流会館(予定)

参加申込をした留学生を対象にしたガイダンスを実施します。受入企業(団体)との交流会の目的やインターンシップ参加にあたっての心構えについて説明します。

- ② 留学生と受入企業との交流会&エントリー

日時:6月6日(土)13:00~17:00 ※留学生は11時集合予定 参加申込をした留学生:必須
加盟校教職員:ご参加ください

会場:兵庫国際交流会館(予定)

- ・ 留学生と受入企業(団体)が直接コミュニケーションを取り、相互理解を深めることで、ミスマッチを防ぎ有意義なインターンシップが実施されることを目的として実施します
- ・ 交流会までに受入企業(団体)情報が公開されており、留学生にはガイダンスにおいて、事前に企業情報に目を通したうえで、交流会までに自己PRや企業への質問などの準備を行うように伝えていますが、話を聞くだけという消極的態度や、自分の知っている企業・関心の高い企業の話しか聞かないという留学生もいます。事前に、企業との交流機会をどのように活かすのか、どのような企業と交流すると良いのか、これまでの先輩学生の事例なども踏まえ、留学生にアドバイスをお願いいたします
- ・ 加盟校教職員におかれましても、交流会に参加いただき受入企業(団体)の概要やインターンシップ内容の説明を聞いて、留学生のサポートをお願いいたします

4. 留学生のエントリー方法について

① 留学生のエントリー方法について

交流会の当日に、留学生はインターンシップを希望する企業を選定し、第1希望の企業に『エントリーシート』を提出します
企業選定にあたって、交流会会場にて留学生のサポートをお願いいたします

留学生のエントリーは、以下の方法で行います

①交流会当日に、第1希望の企業に『エントリーシート』を提出します

②スマートフォンで「志望届フォーマット」に第1希望から第5希望までの企業を入力して送信します。これでエントリーが完了します

第1希望可否の結果:6月15日(月)までに留学生・加盟校の担当者へ連絡

第2希望可否の結果:6月22日(月)までに留学生・加盟校の担当者へ連絡

第3希望可否の結果:6月26日(金)までに留学生・加盟校の担当者へ連絡

【お願い】

※ 留学生の受入可否結果を共有します。第1希望で選考から漏れた留学生は、第2希望、第3希望へと移り選考されます
(昨年度から変更) 適宜サポートをお願いいたします

② 学生への結果通知

各企業からの受入可否の結果は、事務局から留学生に通知いたします

5. 受入手続き ～ 6. インターンシップの実施

② 事前訪問への同行(任意)

- ・ インターンシップ先が決定した留学生が、事務局職員と受入企業(団体)を事前に訪問します。日程は事務局が調整します
日程を共有しますので、可能な範囲で訪問の同行をお願いいたします
- ・ 留学生は、事前に作成した「目標設定シート」を持参し、日程やプログラム内容について、双方の認識にギャップが無いかどうかを改めて確認します。受入企業(団体)と留学生双方にて問題ないことが確認できれば、留学生は企業へ「誓約書」を提出し、インターンシップ実施が正式に決定します

③ 学内で実施される各種講座やセミナー等の案内

事務局から、任意参加のスキルアップ講座(日本語、ビジネスマナー)を留学生へご案内いたします
インターンシップ先が決定した留学生に対し、学内で実施するキャリアセミナー等への参加も合わせてご案内いただきます
ようお願いいたします

④ 事務局との連絡体制

・ 留学生の保険加入状況確認

インターンシップ先が決定した留学生の保険加入状況を確認のうえ、適宜ご対応をお願いいたします
(受入企業(団体)から加入証明書の提出を求められることがありますので、ご対応をお願いいたします)

・ 事件、事故等の発生時対応/ 留学生から相談があった場合の対応

事務局が窓口として対応いたします。所属の留学生のインターンシップ先から直接連絡が入った場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。状況に応じて事務局と連携して対応いただく場合がございます

・ 台風・地震等の発生時の対応

受入企業(団体)と事務局との協議により、インターンシップの延期や中止を行います。留学生や受入企業(団体)先から直接連絡が入った場合は、事務局にご連絡をお願いいたします

7. 成果報告会への参加

① 「インターンシップ活動日誌」・「実施報告書」の確認

インターンシップ期間中において留学生の「インターンシップ活動日誌」・「実施報告書」は、オンラインで共有されますので、ご確認をお願いいたします

② 成果報告会

インターンシップ経験した留学生が成果発表を行います。交流会・情報交換会もございますのでぜひご出席をお願いいたします

プログラム① 留学生による成果発表、留学生・受入企業(団体)・加盟校教職員との交流会

プログラム② 【留学生】事後研修 / 【受入企業(団体)】【加盟校の教職員】情報交換会

プログラム③ 修了証書授与式

日時:9月26日(土)13:00~17:00 ※受付 12:30~

会場:兵庫国際交流会館(予定)

留学生: 参加必須

加盟校教職員: ご参加をお願いいたします

③ 「成果評価シート」の確認と留学生への配布

事務局から「成果評価シート」を大学にメールで送ります。ご確認の上、各留学生に配布をお願いいたします

2026年度 ひょうご留学生インターンシップ 受入企業・団体一覧

	受入企業（団体）名	業種	場所
1	エバオン株式会社	機械部品専門商社	大阪市
2	豊開発株式会社	建設業	大阪市
3	株式会社創発システム研究所	製造業	神戸市
4	株式会社フジ・データ・システム	プログラマ（制御・組込SE）	尼崎市
5	阪神機器株式会社	電気機械器具製造業	神戸市
6	医療法人社団星晶会	医療・福祉	伊丹市
7	公益財団法人兵庫県国際交流協会	公益財団法人	神戸市
8	センコー株式会社	運輸業・倉庫業	大阪市
9	株式会社ベオスアイティホールディングス	プログラマ・SE	大阪市
10	株式会社ブレックス	運輸・サービス業	神戸市
11	株式会社ゼロプラス	コンサルティング	伊丹市
12	大和建工材株式会社	金属製品製造業	尼崎市
13	株式会社森川貫一商店	専門商社（卸売業、介護福祉サービス）	神戸市
14	株式会社eftax	情報通信業	尼崎市
15	株式会社中央電機計器製作所	製造業	大阪市
16	一般社団法人福祉心話会	障害福祉サービス事業	尼崎市
17	山村ロジスティクス株式会社	物流業	尼崎市
18	株式会社ワークアカデミー	教育サービス業	大阪市
19	六甲バター株式会社	製造業	神戸市
20	株式会社パソナグループ	人材ビジネス	淡路市
21	TOA株式会社	製造業	神戸市
22	株式会社シマブンコーポレーション	鉄鋼業	神戸市
23	大日電子株式会社	製造業	尼崎市
24	株式会社JTБ 神戸支店	サービス業	神戸市
25	日本テクノロジーソリューション株式会社	製造業	神戸市
26	株式会社神戸機材	製造業	尼崎市
27	株式会社学生情報センター	不動産業・サービス業	京都市
28	日成化学鍍金工業株式会社	製造業	尼崎市

【2026 年度キャリア委員会 事業計画・自己評価・事業報告】(案)

資料3-1

○目的 兵庫県¹の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

○委員校 委員長校：神戸学院大学 副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学
 (全：21校) 委員校：芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上 [期待される効果] 1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。 2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。	1. 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施			
	1-1「兵庫県」 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年	各年参加者数 450名以上 [内訳] 学生数400名以上 教職員数50名以上	3,941 (受託事業収入)
	1-2 県内企業への就職率向上促進プログラム	[内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年		0
	2 県内企業・団体等の魅力を情報発信	情報公開企業・団体数：120社以上	企業情報の追加掲載 2種類以上	0
課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進 [期待される効果] 3. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。 4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。	2. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施			
	1-1①ひょうご留学生インターンシップ	①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上	各年参加留学生数 500名以上	1,600
	1-1②「尼崎市」 留学生向けインターンシップ(インターンシップ等推進事業)	②参加留学生数：2500名以上/5年		1,415 (受託事業収入)
1-2「兵庫県」 外国人留学生採用ワンストップ支援事業	①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 ②参加留学生数：250名以上/5年	各年参加留学生数 50名以上	6,291 (受託事業収入)	

【2026年度 キャリア委員会（①取組1-1）】「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			報告（3月記載）					
<p>【兵庫県総務部教育課受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p>【趣旨】大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、大学キャリアセンター職員やキャリア教育に携わる教員の県内企業への理解を促進する。</p> <p>(1)大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進 「県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会」</p> <p>大学キャリアセンター職員等を対象に県内企業合同の企業説明会を開催するとともに、学生と企業の有効なマッチング法等について意見交換する。</p> <p>【実施回数】2回以上（年）</p> <p>【目標参加者数】〔大学〕約40校（30校×1回、10校×1回） 〔企業〕約80企業（65社×1回、15社×1回）</p> <p>【実施予定】キャリア×企業 ①2026年9月26日 留学生採用に関する意見交換会 ②2026年10月8日 企業と大学との意見交換会（協業：神戸商工会議所） ③2026年11月頃 経営者・人事採用担当者との意見交換会</p> <p>(2)学生に対する情報発信力強化 「県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会」 県内企業経営者等が講師となり、先進的・実践的な自社の取組や他社に誇れる社風など、リアルな情報を直接講話し、中小企業への理解を深めるとともに、実際の体験に基づいた仕事のやりがいなどについて本音の意見交換を行うことで、学生の地元意識の高揚や県内企業への就職意欲の向上に繋げる。</p> <p>【実施回数】2回以上（年）</p> <p>【目標参加者数】〔学生〕約120人 〔企業〕約20企業</p> <p>【実施予定】 ①2026年10月：ひょうご就職サミット ②2026年11月：経営者・人事の面接大作戦 ③2026年11月：合同模擬グループディスカッション ④2026年11月：兵庫県内企業とのネットワーキング</p> <p>※その他、加盟校、地元企業からの間で課題等を共有し、解決に向けたプログラムを実施予定。</p>											
<p>達成目標に対する実績(取組1-1, 2合算) 【達成目標】①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年 [内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年</p>											
<p>活動指標に対する実績(取組1-1, 2, 3合算) 【活動指標】①各年参加者数450名以上 [内訳]学生数400名以上 教職員数50名以上</p>											
自己評価基準：対到達目標※						-					
自己評価基準：対継続性※						-					
事業収支	収入	3,941,000円	支出		収支		支出		収支		
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 キャリア委員会（①取組1-2）】 県内企業への就職率向上促進プログラム


計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			報告（3月記載）					
<p>【県内企業への就職率向上促進プログラム】</p> <p>【趣旨】 兵庫県総務部教育課の受託事業以外で、就職活動の急激な変化や多様化に柔軟に対応することを目的とした事業の枠組。加盟校と地元企業が連携し、現場の課題やニーズを共有して、若者の地元定着や地域の活性化に向けたキャリア支援プログラムの実施を目指す。また、この事業枠での取り組みを受託事業として展開し、継続実施に繋げることも視野に入れる。事業予算は、前頁取組1-1教育課の新たな取り組みに繋げることが出来るものは、確認の上、取組1-1の予算から拠出する。</p> <p>【取組予定案】</p> <p>(1)兵庫県労政福祉課主催の県内企業合説やバスツアー等の共催 (2)兵庫労働局との事業共催 (3)兵庫県立大学×神戸商工会議所 日本人学生と留学生の混合ゼミでの共修プログラム（ゼミ活動の一環） テーマ「日本企業で留学生が活躍するには」 ゼミ生が賛助会員企業等5社訪問、企業研究の後に、成果報告 (4)グローバルキャリアを目指す学生向けの企業との交流会 （国際交流委員会事業と連携） 兵庫の外資系、JICA関西、世界銀行等</p>										
<p>達成目標に対する実績(取組1-1,2合算)</p> <p>【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年 [内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年</p>										
<p>活動指標に対する実績(取組1-1,2,3合算)</p> <p>【活動指標】 ①各年参加者数450名以上 [内訳]学生数400名以上 教職員数50名以上</p>										
自己評価基準：対到達目標※					—					
自己評価基準：対継続性※					—					
事業収支	収入	0円	支出		収支		支出		収支	

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2026年度 キャリア委員会（①取組2）】県内企業・団体等の魅力を情報発信

計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			報告（3月記載）				
<p>「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開</p> <p>【現在の企業情報の掲載内容】 兵庫県内企業153社掲載中（2026年3月時点） (1) コンソHPから企業HPへのリンク掲載 業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報</p> <p>(2) コンソHP上の一覧表示 ・留学生採用の有無 ・求める日本語力 ・ミモザ企業 ・地域未来牽引企業 ・兵庫県奨学金返還制度利用企業 ・WLB表彰企業 ・WLB認定企業</p> <p>【取組内容】 掲載企業情報の内容を充実するため、(2)の一覧表示の掲載情報を追加する。</p> <p>【スケジュール】 掲載情報の追加内容を確定（8月頃）、 本年度版「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」（12月）に反映する</p> <p>【追加情報案】 ・ひょうごオンリーワン企業 ・健康経営優良法人 ・その他</p> <p>【掲載ページ】 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト https://consortium-hyogo.jp/kigyojoho/company.html</p> 									
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】 情報公開企業・団体数：120社以上</p>									
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】 企業情報の追加掲載 2種類以上</p>									
<p>自己評価基準：対到達目標※</p>					-				
<p>自己評価基準：対継続性※</p>					-				
事業収支	収入	0円	支出		収支		支出		収支

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った	3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	3：本プログラムは継続しても良い	1：本プログラムは中止すべき
---------------	--------------------------------	--------------------------	--------------	--------------------------------------	------------------	----------------

【2026年度 キャリア委員会（④取組1-1①）】ひょうご留学生インターンシップ

計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			報告（3月記載）				
<p>(1)【ひょうご留学生インターンシップ】</p> <p>【趣旨】個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ説明会（オンライン） 4月15日（水） ※オンライン説明会終了後～5月24日までオンデマンド配信 ・参加申込者対象ガイダンス 6月2日（火） ・留学生と企業との交流会&エントリー 6月6日（土） ・実習先への事前訪問 7月～8月頃 ・企業・団体インターンシップ期間 8月～9月頃 ・成果報告会・交流会・修了式 9月26日（土） <p>(2)【外国人向け合同企業説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生向け合同企業説明会（2026年6月17日） 留学生と県内企業とのマッチングを行う企業説明会・就職セミナー等を開催する 主催：神戸市、兵庫県、ひょうご神戸国際ビジネススクエア （神戸市海外ビジネスセンター、ひょうご海外ビジネスセンター、JETRO神戸） 									
<p>達成目標に対する実績（④取組1-1①,②合算）</p> <p>【達成目標】</p> <p>①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 ②参加留学生数：2500名以上/5年</p>									
<p>活動指標に対する実績（④取組1-1①,②合算）</p> <p>【活動指標】各年参加留学生数500名以上</p>									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	1,600,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標		4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性		4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 キャリア委員会（④取組1-1②）】「尼崎市」留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			報告（3月記載）		
<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）】</p> <p>【趣旨】 尼崎市内企業の事業活動の活性化及び市内企業への就職を促進する取組として、日本で就職を希望する外国人留学生に特化したインターンシップの機会を提供するとともに、企業に対し、留学生の能力や職業観、社内での多文化共生社会への理解を深める機会を提供することで、外国人材採用の機運を醸成する。</p> <p>【実施内容】 前頁④取組1-1(1)のひょうご留学生インターンシップの枠組みで同時開催する。</p> <p>【目標人数】 5社15名以上の参加（1社1人～3人の参加目安）</p> <p>【プログラムスケジュール】 プログラムスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ説明会（オンライン） 4月15日（水） ※オンライン説明会終了後～5月24日までオンデマンド配信 ・ 参加申込者対象ガイダンス 6月2日（火） ・ 留学生と企業との交流会&エントリー 6月6日（土） ・ 実習先への事前訪問 7月～8月頃 ・ 企業・団体インターンシップ期間 8月～9月頃 ・ 成果報告会・交流会・修了式 9月26日（土） <p>（+以下が尼崎市の独自取組となる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アマポータルへ活動記事掲載 10月頃 								
<p>達成目標に対する実績（④取組1-1①,②合算） 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 ②参加留学生数：2500名以上/5年</p>								
<p>活動指標に対する実績（④取組1-1①,②合算） 【活動指標】 各年参加留学生数500名以上</p>								
自己評価基準：対到達目標※						-		
自己評価基準：対継続性※						-		
事業収支	収入	1,415,000円	支出		収支	支出		収支

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2026年度 キャリア委員会（④取組1-2）】「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			報告（3月記載）			
<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業 「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】</p> <p>【事業内容】 (1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を[対面・オンライン・メール・電話等]により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ア:窓口相談の対象者 a 留学生（既卒の就職者を含む。） b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業 イ:相談内容 a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応 b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介 ②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ア:対象 留学生採用検討の企業、留学生採用中の企業 イ:内容 a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応 b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業へ専門家派遣 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 留学生の採用や入社後の人材活用に向けた企業向け啓発セミナーを実施することにより、県内企業における人材確保を促進する。また、セミナーの内容をアーカイブ配信し、県内企業への効果的な啓発を実施する。 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②回数 年1回 ③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介 (3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。</p> <p>【業務体制】 (1)相談窓口には相談員を1名配置する。 (2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能な人材 (3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00～16:00（年末年始、祝日除く）</p>									
<p>達成目標に対する実績 ①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 ②参加留学生数：250名以上/5年</p>									
<p>活動指標に対する実績 各年参加留学生数：50名以上</p>									
自己評価基準：対到達目標※						—			
自己評価基準：対継続性※						—			
事業収支	収入	6,291,000円	支出		収支	支出		収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2026年度 キャリア委員会 事業予算】

資料3-2

(単位：円)

予算			各取組 予算						委員会 予算
			課題①			課題④			
			取組1-1	取組1-2	取組2	取組1-1(1)	取組1-1(2)	取組1-2	
			「兵庫県」 大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進 プロジェクト	県内企業への就職率向上促進事業	県内企業・団体等の魅力を 情報発信	留学生向け就職支援・ キャリア教育プログラム	「尼崎市」 外国人留学生向け インターンシップ	「兵庫県」 外国人留学生採用 ワンストップ支援事業	
予算額			予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	
収入	会費収入	1,700,000				1,600,000			100,000
	助成事業収入	0							
	受託事業収入	11,647,000	3,941,000				1,415,000	6,291,000	
	プログラム収入	0							
	雑収入	0							
	戻入金	0							
	計	13,347,000	3,941,000	0	0	1,600,000	1,415,000	6,291,000	100,000
支出	会議費	0							
	旅費交通費	304,600	50,600				54,000	200,000	
	通信運搬費	400,000					200,000	200,000	
	消耗品費	228,000	47,000				61,000	120,000	
	新聞図書費	0							
	印刷製本費	389,900	119,900					200,000	70,000
	光熱水料費	0							
	賃借料	911,300	311,300			300,000		300,000	
	保険料	0							
	謝金	482,000	132,000			250,000		100,000	
	租税公課	40,000						10,000	30,000
	支払手数料	10,000						10,000	
	諸会費	0							
	委託費	1,650,000				650,000		1,000,000	
	人件費	8,931,200	3,280,200			400,000	1,100,000	4,151,000	
	接待交際費	0							
	支払支援金	0							
雑費	0								
計	13,347,000	3,941,000	0	0	1,600,000	1,415,000	6,291,000	100,000	

収入－支出	0
-------	---

インターンシップ等推進事業（外国人留学生向けインターンシップ）委託仕様書

1 委託業務名

インターンシップ等推進事業（外国人留学生向けインターンシップ）

2 事業目的

2025年（令和7）年6月の文部科学省の「外国人留学生の就職促進について」によると、日本国内で就職を希望する外国人留学生のうち、実際に国内で就職した者の割合は約30%にとどまり、少子高齢化等で労働力不足が深刻化しているなかで、高度人材でもある外国人留学生の日本での就職は進んでいない現状がある。

これらの現状を踏まえて、日本で就職を希望する外国人留学生を対象に、市内企業でのインターンシップの機会を提供するとともに、企業に対しては、外国人留学生の能力や職業観、社内での多文化共生社会への理解を深める機会を提供し、今後のさらなる外国人採用の機運を醸成する。

3 契約期間

契約締結日から令和8年12月31日までとする。

4 委託業務内容

(1) 外国人留学生向けインターンシップのコーディネート

尼崎市市内企業におけるインターンシップの企画・運営、その他企業調整等これらの実施に必要な付随業務を行うこと。

具体的には、令和8年8～9月（大学等夏季休暇期間）に市内企業において、5日間以上のインターンシップを実施すること。

なお、インターンシップの内容は、外国人留学生と市内企業が相互に理解する機会を提供することで、外国人留学生の市内企業への就職意欲の向上を図るとともに市内企業の多文化共生社会への理解を深められる内容となるよう努めること。

(2) 参加学生募集の広報活動

参加学生を募集するため、本市と協議した上でチラシの作成やインターネットを利用した情報発信など、本事業の活性化につながる効果的な広報活動を実施すること。

(3) 参加学生の選考・管理

申込書等を作成の上、目標人数の参加学生確保に努め、必要に応じて本市と協議した上で選考を行う。また、参加が決まった学生に対してインターンシップ実施に向けた案内や研修等、傷害保険加入、質疑応答対応を行うとともに、実施期間における学生管理を行うこと。

(4) 参加企業の掘り起こし

参加企業選定は基本的には市で行うが、今後の市内企業における本事業の普及に向けて、尼崎市とともに参加企業の掘り起こしに努めること。

(5) 参加企業のサポート

インターンシップ実施期間中の参加企業の伴奏支援を必要に応じて行うこと。

(6) アンケート調査の実施

本事業への参加企業及び参加学生に対してアンケート調査を実施し、円グラフ等の視覚的に分かりやすいものを用いた結果報告及び分析結果を実績報告として提出すること。アンケート項目等については、尼崎市と協議すること。

- (7) 報告書の作成ならびに「アマポータル」を用いた参加企業の魅力発信
実施内容について取りまとめを行い、報告書を作成すること。また、参加企業の魅力
発信を行うため、「アマポータル」への掲載記事を作成すること。

5 事業目標

参加学生15人以上、参加企業5社以上

※参加企業は基本的に市で選定する

6 事業実施計画書及び実績報告について

- (1) 事業の実施にあたり、予め事業実施計画書（情報発信を含む。）を提出し、尼崎市と協議すること。
- (2) 参加企業及び参加学生に対して実施したアンケートの結果及び分析結果を実績報告として提出すること。

7 業務責任者

本業務を実施するにあたっては、業務責任者を定め、その氏名をあらかじめ報告すること。また、業務責任者を変更したときも同様とする。

8 業務実施における連絡・協議

業務に際しては、契約締結以降、尼崎市と十分な協議を適宜行いながら業務を進めていくものとする。

9 業務の一括委託の禁止

本業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、本業務の一部について、あらかじめ尼崎市が認めた場合はこの限りではない。（この場合、尼崎市暴力団排除条例第2条第4号に規定する暴力団又は同条第5号に規定する暴力団員若しくは同条第7号に規定するこれらと密接な関係を有する者（以下「暴力団等」という。）に委託し、又は請け負わせてはならない。）

10 業務委託料の提案上限価格

1,415,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

11 支払条件

業務完了後、適法な請求を受けた日から30日以内に一括支払い。

12 契約保証金

尼崎市契約規則第32条第7号により免除

13 留意事項

- (1) 守秘義務
業務受託者は、本業務を行う上で知り得た秘密を他人に漏らしてはいけない。
- (2) 個人情報の保護
業務受託者は、本業務委託により知り得た個人情報を本業務の目的以外に使用してはならない。なお、本業務委託契約期間終了後においても同様とする。

(3) 安全の確保

各事業の実施においては、参加学生等の安全に十分に配慮すること。また、参加学生等のケガ、参加学生等による参加企業に係る情報漏洩や器物損壊、その他事故等に備え、必要に応じてインターンシップ保険等に加入するなど、その安全を確保すること。

(4) 損害賠償責任

業務受託者が本業務の実施に際し、尼崎市又は第三者に損害を与えた場合等にあつては、直ちにその損害を賠償しなければならない。

(5) 損害措置

本業務委託の実施により、第三者に与えた損害は、尼崎市に起因するものを除き、全て業務受託者の責任として対応すること。

14 その他

- (1) 本委託業務の遂行にあたっては、関連する諸法規・条例等を遵守すること。
- (2) 事業実施にあたっては、個人情報等の保護すべき情報を取り扱う場合は、その取扱に万全の対策を講じること。
- (3) 関係機関及び関係団体との協議調整を行う場合は、業務受託者の責任において行うこと。
- (4) 業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ尼崎市の承認を得ること。
- (5) その他仕様書に記載されていない事項については、尼崎市と業務受託者の双方が誠意を持って協議し対処すること。

15 問い合わせ先

尼崎市経済環境局経済部しごと支援課

住所：〒660-0876

尼崎市竹谷町2丁目183番地 出屋敷リベル3階

電話：06-6430-7635

ファクス：06-6430-7638

電子メール：ama-shigotoshienka@city.amagasaki.hyogo.jp

担当：田中・中田

以上

にほん しゅうしょく りゅうがくせい
日本で就職したい 留学生のみなさんへ

にほん しゅうしょく かつどう
日本での就職活動で
わからないこと、こまったことはありませんか？



兵庫県



兵庫県マスコット
「はばタン」

👉 Support Menu こんな支援を受けることができます

にほん しゅうしょくかつどう ほうほう おし
日本での就職活動の方法を教えます

りゅうがくせい さいよう きぎょう
留学生を採用したい企業、
インターンシップ、合同企業説明会
の情報を教えます

えんとりーしーと めんせつ そうだん
エントリーシートや面接のことを相談できます

ざいりゅうしかく
在留資格(VISA)の
へんこう そうだん
変更を相談できます

えいご そうだん
英語で相談ができます

…その他なんでも!

そうだん むりょう
相談無料

でんわ めーる
電話・メール
おんらいん たいめん
オンライン・対面

りゅうがくせい
留学生
たいしょう
対象

がいこくじん りゅうがくせい さいよう
外国人留学生採用
わんす とっ ぶ そうだん まどぐち
ワンストップ相談窓口

にほん しゅうしょくかつどう くに おお ちが はや じき じゅんび
日本での就職活動はみなさんの国とは大きく違い、早い時期からの準備が
必要です。とにかく早く相談に来てください。

そうだん もう こ
相談の申し込みは
こちら
コチラ



そうだん ばしょ
相談ができる場所

まどぐちうけつけじかん げつ すい きん
窓口受付時間 月・水・金9:00～16:00(祝日・年末年始を除く)

TEL 078-271-0233

MAIL one-stop@consortium-hyogo.jp

じゅうしょ
住所 こうべしちゅうおうくわきのはまちょう ちょうめ ひょうごこくさいこうりゅうかいかん
神戸市中央区脇浜町1丁目2-8兵庫県国際交流会館1F
いちしゃ だいがく こんそーしあむ ころべ ない
(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸内

あくせす
アクセス はんしん いわやえき とほ ぶん
阪神「岩屋」駅:徒歩3分/
JR「灘」駅:徒歩6分/
はんきやう おうじこうえんえき とほ ぶん
阪急「王子公園」駅:徒歩10分

MAP



と あ さい わんす とっ ぶ けん つた
お問い合わせの際は、「ワンストップの件」とお伝えください。

がいこくじんりゅうがくせいさいよう わんす とっ ぶ そうだんまどぐち いちしゃ だいがく こんそーしあむ ころべ ひょうごけん いたく う りんえい
「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」は(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸が兵庫県からの委託を受けて運営しています。

外国人留学生の採用を検討中または
すでに採用されている **事業主さまへ**

こんな**疑問・お悩み**はありませんか？



兵庫県



兵庫県マスコット
「はばタン」

例えば…

外国人留学生の採用ははじめてで何もわからない！

採用活動しているけど、
適切な人材が見つからない！

採用したけど、
職場に定着しなかった…なぜ？

在留資格(VISA)の
変更って会社がするの？

今の就業規則のままで
外国人留学生を採用して大丈夫？

社内の反対意見
にどう対応すればいい？

留学生インターンシップ
で試してみたい！

相談無料

電話・メール・
オンライン・対面

企業
対象

外国人留学生採用 ワンストップ相談窓口

外国人留学生の採用・職場定着
に関するお問い合わせは

相談の申し込み・
詳細はコチラ



窓口受付時間 月・水・金9:00～16:00(祝日・年末年始を除く)

TEL **078-271-0233**

MAIL one-stop@consortium-hyogo.jp

住所 神戸市中央区脇浜町1丁目2-8
兵庫国際交流会館1F
(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸内

アクセス 阪神「岩屋」駅:徒歩3分/
JR「灘」駅:徒歩6分/
阪急「王子公園」駅:徒歩10分

外国人材の
雇用全般の相談は

外国人雇用
HYOGO
サポートデスク

お問い合わせの際は、「ワンストップの件」とお伝えください。

「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」は(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸が兵庫県からの委託を受けて運営しています。



大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進業務委託仕様書

1 目的

県内大学生の地元就職を促進するため、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、各大学キャリアセンターの意識喚起と就職指導力の向上を図り、キャリアセンターにおける県内企業の情報発信力を強化するとともに、学生と企業とのマッチング機能を充実させる。

2 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

3 委託業務の内容

大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、大学キャリアセンター職員やキャリア教育に携わる教員の県内企業への理解を促進する。

(1) 大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進

- ・ 県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会
大学キャリアセンター職員等を対象に県内企業合同の企業説明会を開催するとともに、学生と企業の有効なマッチング法等について意見交換する。

【実施回数】 2回以上（年）

【目標参加者数】〔大学〕約40校（30校×1回、10校×1回）
〔企業〕約80企業（65社×1回、15社×1回）

(2) 学生に対する情報発信力強化

- ・ 県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会
県内企業経営者等が講師となり、先進的・実践的な自社の取組や他社に誇れる社風など、リアルな情報を直接講話し、中小企業への理解を深めるとともに、実際の体験に基づいた仕事のやりがいなどについて本音の意見交換を行うことで、学生の地元意識の高揚や県内企業への就職意欲の向上に繋げる。

【実施回数】 2回以上（年）

【目標参加者数】〔学生〕約120人 〔企業〕約20企業

(3) 大学間連携就職コーディネーターの設置

大学コンソーシアムひょうご神戸に、大学間連携就職コーディネーターを設置し、キャリアセンターや県内企業との連携調整等を行い事業を実施する。

4 委託金額

金3,941,000円（取引にかかる消費税及び地方消費税を含む）

ひょうご事業改善レビュー（外部委員会）を踏まえた対応

【外部委員会の主な意見（令和7年度）】

- ・事業の直接的な成果を把握することができていないため、この事業に関わった学生が県内企業の内定を取ったかどうかダイレクトに把握できるよう検討していただきたい。
- ・「企業へのエントリー数」「内定取得数」なども把握できる場合はアウトカム指標になるのではないか。
- ・低学年に対しては、経営者による説明会や模擬面接等よりもハードルの低い地元企業との接点づくりが必要である。
- ・同じ大学・学部先輩との交流が学生の参加意欲を高めるため、積極的に活用するべき。

【意見を踏まえた対応（令和8年度から）】

- ・アウトカム指標として以下の項目を設定する。
「参加企業にエントリーしようと思った（低年次生の場合は関心を持った）学生割合」
※ 本事業の性質上、内定取得数を成果として測定することは困難であるため、学生の行動変容と企業との関係構築といった中間指標を中心に評価を行う。
- ・イベント開催時に参加学生の属性に応じた説明者（OB等）の派遣を企業に呼び掛ける

キャリア委員会でのグループワークのテーマについて

①テーマ設定の経緯

1) 2025年度第5回キャリア委員会での懇談の結果（ご参照：資料4-1①）

[決定事項]

- ・2026年度は従来通りの3年生向けイベントを実施（開催時期、開催形式、企業等は改善）

[主な意見]

- ・2年生向けの取り組みは意義があるが、集客が難しい
- ・2年生は参加動機が弱いため、工夫が必要
- ・授業やゼミと連携しやすい設計にすると参加率が上がる
- ・企業と連携した課題解決型（PBL）要素を入れると、コンテンツの魅力が高まる

2) キャリア委員会事業の現状と今後の課題

[現状]

- ・主な取り組み：就活セミナー（模擬面接・GD・交流会）、合同企業説明会
- ・就活の早期化・多様化により：
 - 参加学生の減少・当日キャンセルが増え、運営が不安定
 - 一部企業は“求める学生に会えていない”と感じている（賛助会員退会の一因に）
- ・OB/OG・低年次へのアプローチが十分ではない
- ・留学生の参加は増加傾向（ニーズあり）

[今後の課題]

- ・オープン参加型（セミナー・合説）以外の切り口が必要（個別最適化した取組など）
- ・OB/OG、低年次との接点づくりが求められている
- ・就活セミナーは継続するが、時期・方法・対象学年の再検討が必要
- ・イベント参加企業に対して、コンソ事業の理解の促進。（コンソは、就職エージェントではない…）

※これらの点を踏まえ、以下のテーマについて意見交換をお願いできればと存じます。委員の皆さまのお知恵をお借りできれば幸いです。

兵庫県の受託事業における学生に対する取組、県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会の枠での、『授業やゼミと企業が連携したプログラム』の実施方法について（2027年度以降～）

②グループワークの参考とするコンソの既存のプログラム

- ・企業課題解決プログラム（共創キャンパス）（ご参照：資料 4-1②）
- ・テーマ型企业理解プログラム（ご参照：資料 4-1③）

[良い点]

- ・授業内で企業と協働することで、学生が働く姿をリアルに理解できる
- ・企業は学生の視点や大学の知見を得ることができる
- ・「実践的な関わり」が学生の企業理解を深めている

[考慮する点]

- ・期間が長く、扱うテーマも本格的ため参加できる大学・学生・企業が限られる

③グループワークのゴール

- ・『授業やゼミと企業が連携したプログラム』の実施方法案が出ること。
- ・企業課題解決プログラムのような実践的な関わりを良さを活かしつつ、より幅広い大学・より多くの学生が参加できる形に広げることを目指す。

(2027年度以降の取組案)

④その他の検討ポイント

- ・OB OG や若手社員との接点をどう組み込むか？
- ・学生や大学の授業やゼミと連携する際に、どんな企業情報が開示されていると学生や教職員が連携に興味を示してくれるのか？（「こんな企業とならやってみたい、授業にゲストとして来て欲しい」など）
- ・低学年対象のプログラムは、“県内企業を就活のスタート地点・基準”という認識を持たせられるか？
- ・テーマ型企业理解プログラムは 2027 年度より、キャリア委員会事業となる可能性が大きい
- ・キャリアセンター職員はどう携わるか？ 学生をキャリアセンターに呼ぶことに繋げられるか？

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2025 年度 第 5 回 キャリア委員会 議事録

日 時：2026 年 2 月 16 日（月）13:00～14:03

場 所：兵庫国際交流会館 2 階 研修室 1

出席校：【委員長】 関西学院大学・関西学院短期大学 松本キャリアセンター副長
小浪キャリアセンター長
【副委員長】 関西福祉大学 立川課長代理
神戸国際大学 田辺氏（代理）
【委 員】 大手前大学・大手前短期大学 久保室長
関西国際大学 藤井部長
甲南大学 天羽次長
神戸大学 田中特命政策研究職員
神戸海星女子学院大学 酒井教授・内山氏
神戸学院大学 住本グループ長・住谷リーダー（代理）
神戸松蔭大学 山田主幹（代理）
神戸親和大学 實安主任（代理）
宝塚医療大学 山口准教授（代理）
兵庫県立大学 片山氏（代理）
流通科学大学 屋久次長

（欠席校：芦屋大学、甲南女子大学、神戸市外国語大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学・兵庫
大学短期大学部）

（コンソ事務局：鈴木、園田）

I. 報告事項

1. 2026 年度・2027 年度の事業委員会の正副委員長校について (資料 1)
2. 事業委員会の運営に関する申し合わせについて (資料 2)

II. 審議事項

1. 2026 年度 キャリア委員会 事業計画・予算（案）について (資料 3)
 1. 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト実施
 - 1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元企業促進プロジェクト
 - 1-2 県内企業への就職率向上促進プログラム
 - 2 県内企業・団体等の魅力を情報発信
2. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施
 - 1-1 (1) ひょうご留学生インターンシップ
 - 1-1 (2) 「尼崎市」留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）
 - 1-2 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業

III. 懇談事項

1. 2026 年度キャリア委員会事業①取組 1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した (資料 4)
県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施内容の見直しについて

2. 2026年度キャリア委員会事業④取組 1-1①留学生向け就職支援・キャリア教育 (資料5)
プログラムの運営方法について

IV. 連絡・調整事項

1. 第6回キャリア委員会(2026年3月):2025年度事業報告・決算(案)について
2. 2026年度第1回キャリア委員会の開催予定と主な議題について
第1回委員会 予定日:4/20(月)~4/30(木)(※4/24は除く)の期間に実施予定
主な議題:2026年度キャリア委員会事業計画(案)について
場所:神戸学院大学

<資料一覧>

- 【報告事項1】資料1 :2026年度・2027年度の事業委員会の正副委員長校について
- 【報告事項1】資料2 :事業委員会の運営に関する申し合わせ
- 【審議事項1】資料3-1:2026年度事業計画・予算(案)及び2025年度事業報告・決算(案)の
作成について(依頼)
- 【審議事項1】資料3-2:2026年度キャリア委員会 事業計画・予算【鑑】(案)について
- 【審議事項1】資料3-3:尼崎市経済環境局経済部しごと支援課「インターンシップ等推進事業(外国人留学生向けインターンシップ)委託仕様書
- 【審議事項1(参考)】資料3-4:2025年度 各事業委員会の事業計画における自己評価・改善提案について
- 【懇談事項1】資料4-1:2026年度キャリア委員会事業①取組 1-1「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施内容の見直しについて
- 【懇談事項1(参考)】資料4-2:大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進業務委託仕様
- 【懇談事項1(参考)】資料4-3:就活生向けグループディスカッション&グループ面接体験セミナー
実施報告書
- 【懇談事項2】資料5 :2026年度キャリア委員会事業④取組 1-1①留学生向け就職支援・キャリア教育
プログラムの実施内容の見直しについて

【I. 報告事項】

1. 2026年度・2027年度の事業委員会の正副委員長校について
松本委員長より、資料1に基づき、2026年度・2027年度のキャリア委員会の正副委員長校について、キャリア委員会の委員長校は神戸学院大学、副委員長校は関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学となることの報告があった。
2. 事業委員会の運営の申し合わせ改定について
松本委員長より、資料2に基づき、委員長校および副委員長校の任期・選考方法に関する「経過措置」を本文から削除し、付則として規定することの報告があった。

【II. 審議事項】

1. 2026年度キャリア委員会事業計画・予算(案)について
鈴木次長より、資料に基づき、中長期計画II期の取組課題と2026年度キャリア委員会事業計画(案)について説明があり、全員異議なく承認された。また、鈴木次長より2025年度の県内企業団体等の魅力を情報発信する取組において「くるみん」「ユースエール」を追加することについての説明があり、全員異議なく承認された。

【Ⅲ. 懇談事項】

1. 2026年度キャリア委員会事業①取組 1-1「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の
地元就職促進プロジェクトの実施内容の見直しについて
鈴木次長より、資料 4-1 に基づき、グループディスカッション&グループ面接体験セミナーの実施
状況や、今後の検討事項について説明があった。松本委員長より従来の枠組みの課題を踏まえた、
低年次層に向けた取り組み案の説明があった。懇談の結果、2026年度は従来通りの3年生向けイ
ベントを継続することとなった。

<主な意見>

- ・参加対象を3年生から2年生に変更した2年生向けイベント案について検討いただきたい。
 - 低年次プログラムとしての意義はある、また他流試合の機会として有効、地元企業への早期接点は重要である。
 - 低年次は就活への実感が薄いため、3年次向け施策との明確な「段階設計（ステップアップ）」の検討が必要である。また、集客面での課題が大きく、参加の動機付け設計が重要だが難しい。
- ・集客において改善できることはあるか。
 - 開催時期や、参加企業の顔ぶれ（大手・有名企業の参加）が集客の鍵となる。
 - ゼミや学科単位など、大学の「授業」と連携しやすい設計にすることで、参加率向上につながる可能性がある。既存の形式に加え、企業と連携した「課題解決型プログラム（PBL）」などの要素を取り入れ、コンテンツの魅力を高めるべきである。
- ・実施方法について検討事項はあるか。
 - エージェント利用の早期化や、オンライン面接の普及による「対面選考への心理的ハードル」があり、学生を取り巻く環境が変化している点を考慮する必要がある。遠方からの参加ハードルを下げるためにも、オンライン実施の併用も検討してはどうか。

2. 2026年度キャリア委員会事業④取組 1-1①留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの
運営方法について
鈴木次長より、資料 5 に基づき、ひょうご留学生インターンシップの実施状況と来年度の変更点に
ついて説明があった。懇談の結果、資料 5 の提案通り定員を設定し、事務局側で選考・調整のうえ
大学へ報告する運用を試行することとなった。定員人数の確定は、実施前に事務局から報告し、事
前研修は負担軽減の観点から「1つにまとめる」ことを基本とし、内容によりオンライン受講等も組
み合わせる方向となった。

<主な意見>

- ・企業数と学生数をコンソ事務局で調整し、参加学生の資格を N1 または N2 取得者に限定する（それ以外は
要相談）ことについてご意見を伺いたい。
 - 定員制の導入には賛成。N1・N2 限定は企業側の負担軽減にも有効である。事前に「英語のみ学生は
対象外」等を明記することで運用の負荷を下げられるのではないか。
- ・申込方法を大学経由の一括申込の形式に変更する。（推薦制ではなく、大学のフィルターを通す形式）
 - 大学経由の申込は学生把握の観点から有効である。
 - 従来通り個別に申込にして、コンソ事務局から大学に共有する形式でよいのではないか。
- ・マナー練習や他校の学生との目標共有の時間を追加した件について必要の是非をお伺いしたい。
 - 事前研修（マナー等）は有益だが、負担が増える。オンライン化・事前研修と合わせることで負荷軽減
してはどうか。

【IV. 連絡・調整事項】

1. 第6回キャリア委員会（2026年3月）：2025年度事業報告・決算（案）について
第6回キャリア委員会は、メール審議とすることとなった。
2. 2026年度第1回キャリア委員会の開催予定と主な議題について
第1回キャリア委員会は、4月30日（木）15時から開催する予定であることの案内があった。現在、会場校である神戸学院大学と調整中であり、開催日時等が確定したら、改めて連絡するという説明があった。

以上をもって、第5回キャリア委員会は終了した。

以上

2023～2026年度企業課題解決プログラムの実績について

■2023年度（計17件：新規17件、11社 7大学）

2025. 5. 1現在

開始年度	新規/継続	企業名	提供課題	取組大学	取組方法	年度内終了	期間	備考（イベント・発表など）
2023年度	新規	(株)JTБ	「B&Sプログラム（修学旅行）」における防災プログラム開発	兵庫県立大学 後藤ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年6月～2025年3月	
2023年度	新規	(株)TAT	ネイル（サロン）利用者数増加とアクセシビリティ向上における市場拡大	甲南大学 西村ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2023年4月～2023年9月	
2023年度	新規	日本テクノロジーソリューション(株)	酒倫プロジェクト「酒造と学生でコラボ商品開発」	関西学院大学 栗田 匡相ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2023年4月～2024年3月	
2023年度	新規	日本テクノロジーソリューション(株)	ポर्टピアランドの活性化「ようこそポर्टピアへ、ユートピアによるこそ」	関西国際大学 山本先生	社会学科学生チームでの取組	○	2023年5月～2023年12月	
2023年度	新規	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター	採用マーケティングの強化/求職者体験（採用CX）の向上	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2023年10月～2024年7月	
2023年度	新規	バンドー化学(株)	新規事業開発	関西学院大学	知財産学連携センター	○	2023年4月～2023年10月	
2023年度	新規	バンドー化学(株)	新規事業開発	兵庫県立大学	産学連携・研究推進機構	○	2023年4月～2023年6月	
2023年度	新規	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の機会の増加	神戸学院大学 辻ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2023年10月～2024年1月	・2024年1月 もち麦展示会開催 ・10月 大学レストランにて「蒸しもち麦」使用メニューを限定販売
2023年度	新規	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の機会の増加	甲南大学 西村ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年12月～2024年7月	
2023年度	新規	丸善雄松堂	三ノ宮図書館との連携企画	関西国際大学 小磯ゼミ	観光学科3年 ゼミでの取組	○	2023年4月～2024年1月	
2023年度	新規	(株)みなと銀行	若者向けSNS強化	神戸学院大学 石賀ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2023年4月～2023年7月	
2023年度	新規	(株)みなと銀行	若者向けの銀行におけるデジタルマーケティング	神戸松蔭女子学院大学 奥村先生	教員他、外部有識者を交えた取組		2023年4月～2025年3月	
2023年度	新規	株式会社ヤマシタワークス	研磨剤の水分保持時間の延長	神戸大学	(株)神戸大学イノベーション	○	2023年6月～2023年9月	
2023年度	新規	株式会社ヤマシタワークス	研磨剤の開発	兵庫県立大学	産学連携・研究推進機構	○	2023年6月～2023年10月	兵庫県立大学 兵庫県立工業技術センター協力
2023年度	新規	(株)ロジックアンドサプライズ	尼崎の地域課題解決（ブランドイメージ向上）→大阪観光局観光アプリの評価	関西学院大学 栗田ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年4月～2025年3月	
2023年度	新規	和田興産(株)	神崎郡神河町の古民家再生事業「ラドーレ神河」の活性化	関西国際大学 山本ゼミ	社会学科3年ゼミでの取組		2023年5月～2025年3月	
2023年度	新規	和田興産(株)	SDGsへの取組み/企業知名度の向上	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2023年10月～2024年7月	

■2024年度（計14件：新規7件・継続7件 9社 8大学）

開始年度	新規/継続	企業名	提供課題	取組大学	取組方法	年度内終了	期間	備考（イベント・広報など）
2024年度	新規	医療法人社団 星晶会	医療現場におけるやさしい日本語	流通科学大学 辻ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2024年4月～2025年3月	
2024年度	新規	日本通運(株)	採用ブランド力の強化	流通科学大学 柿沼ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2024年4月～2024年12月	
2024年度	新規	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター②	理系・情報系学生をターゲットとした採用広報動画の制作	流通科学大学 関陽ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2024年4月～2025年1月	
2024年度	新規	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の機会の増加	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2024年9月～2025年7月	
2024年度	新規	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の機会の増加	神戸親和大学 河野先生	文学部 2年生対象のPBL授業での取組	○	2023年4月～2024年7月	
2024年度	新規	(株)山上	山上の魅力発信について	神戸国際大学 上田ゼミ	ゼミ課題での取組		2024年11月～2025年5月	
2024年度	新規	和田興産(株)	神崎郡神河町の古民家再生事業「ラドーレ神河」の活性化	神戸国際大学 上田ゼミ、鍋嶋ゼミ	ゼミ課題での取組		2025年3月～2026年1月	絆プロジェクト活用 紹介動画を企業WEBサイトに掲載
2024年度	2023年度から継続	(株)JTБ	「B&Sプログラム（修学旅行）」における防災プログラム開発	兵庫県立大学 後藤ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年6月～2025年3月	
2024年度	2023年度から継続	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター	採用マーケティングの強化/求職者体験（採用CX）の向上	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2023年10月～2024年7月	
2024年度	2023年度から継続	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の機会の増加	甲南大学 西村ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年12月～2024年7月	
2024年度	2023年度から継続	(株)みなと銀行	若者向けの銀行におけるデジタルマーケティング	神戸松蔭女子学院大学	教員他、外部有識者を交えた取組		2023年4月～2025年3月	
2024年度	2023年度から継続	(株)ロジックアンドサプライズ	尼崎の地域課題解決（ブランドイメージ向上）→大阪観光局観光アプリの評価	関西学院大学 栗田ゼミ	ゼミ課題での取組		2023年4月～2025年3月	
2024年度	2023年度から継続	和田興産(株)	神崎郡神河町の古民家再生事業「ラドーレ神河」の活性化	関西国際大学 山本先生	社会学科3年ゼミでの取組		2023年5月～2025年3月	★2025年3月 関西国際大学と和田興産が連携協力協定を締結
2024年度	2023年度から継続	和田興産(株)	SDGsへの取組み/企業知名度の向上	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2023年10月～2024年7月	2025年ワコーレフォトコンテスト7月に実施（一般公募）

■2025年度（計：26件 新規：23件 2024年度から継続：3件 18社 10大学）

開始年度	新規/継続	企業名	提供課題	取組大学	取組方法	年度内終了	期間	備考（イベント・広報など）
2025年度	新規	(株)EF	留学や語学学習、国際交流の楽しさを伝えるコンテンツマーケティング	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	ゼミ課題での取組	○	2025年10月～2026年1月	
2025年度	新規	(株)EF	Shadowing Communityを活用した取り組み	神戸学院大学 中西先生	グローバル・コミュニケーション学部1・2年生 有志		2025年9月～(中断)	
2025年度	新規	エム・シーシー食品(株)	ブランド力向上と「100時間かけたビーフカレー」の若年層ファン獲得に向けた取り組み	流通科学大学 三浦ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2025年12月	
2025年度	新規	株式会社オークハウス	国際交流型シェアハウスが360度の問題に対して解決策となるか	神戸学院大学 中西先生	グローバル・コミュニケーション学部1・2年生 有志	○	2025年4月～2025年12月	
2025年度	新規	(株)Clear	阪神・淡路大震災の「希望の灯」のストーリーを未来に繋ぐために必要なこと	神戸学院大学 木暮ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年2月	・1月神戸ルミナリエ 大学連携企画 防災・チャリティイベントを開催 ・テーマ型企業理解プログラムと同時進行
2025年度	新規	(株)JTБ 神戸支店	大学生の海外志向醸成	神戸国際大学 北ゼミ	ゼミ横断型での取組	○	2025年4月～2026年1月	
2025年度	新規	(株)JTБ 神戸支店	大学生の海外志向醸成	流通科学大学 山川ゼミ		○	2025年4月～2026年1月	
2025年度	新規	医療法人社団 星晶会	医療現場におけるやさしい日本語	神戸親和大学 河野ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2025年7月	成果をYouTube動画に発信（日本の医療制度を外国人・留学生にわかりやすく伝えるガイド）
2025年度	新規	(株)ソネック	自社製農産物を活用した地域振興を推進する方法とは	神戸学院大学 菊川ゼミ	ゼミ課題での取組		2025年10月～(中断)	
2025年度	新規	(株)TAT	ネイルサロンの利用率のUP	神戸女子学院大学 上ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年2月	
2025年度	新規	(株)TAT	ネイルサロンの利用率のUP	甲南女子大学 永野ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年11月	11月ビジネスプランコンテスト 企業課題事例発表
2025年度	新規	(株)東京商工リサーチ	「就職情報誌エラベル」の認知度向上	流通科学大学 早川ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年1月	
2025年度	新規	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター	人材の採用・育成	流通科学大学 後藤ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年1月	
2025年度	新規	早駒運輸(株)	耳を澄ませば聞こえる汽笛の音「ボーボー」bou boh KOBEの活性化（乗船客数拡大）	神戸学院大学 岡本ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年7月～2026年2月	

16	2025年度	新規	兵庫県信用保証協会 【栄粟メイプル株】	「道の駅はが」事業のブラッシュアップ	神戸学院大学 石賀ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年1月	10月シンキッズフェスティバル出展 11月 ビジネスプランコンテスト 企業課題事例発表、第3期入展開
17	2025年度	新規	(株)マルヤナギ小倉屋	「兵庫県産もち麦」の認知度拡大と消費拡大戦略	明石工業高等専門学校 水野チーム	Co+workでの取組 2年生、3年生、4年生	○	2025年5月～2025年12月	最終発表の後、企業と学生が 意見交換会実施（ビジネス視点）
18	2025年度	新規		「兵庫県産もち麦」の認知度拡大と消費拡大戦略	神戸学院大学 藤原ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年6月～2025年12月	10月シンキッズフェスティバル出展 (PRと情報収集)
19	2025年度	新規	(株)ロジックアンド サプライズ	訪日外国人(主に中華圏)を対象とした、医療・グリーンツーリズム等の開発	甲南女子大学 和田ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年4月～2026年2月	2026年度継続予定(4年生ゼミ)
20	2025年度	新規	(株)ロック・フィールド	新卒採用！課題解決！活躍人材採用のために 営業職の魅力を伝えるためには？	流通科学大学 前川ゼミ	ゼミ課題での取組	○	2025年8月～2026年1月	
21	2025年度	新規	兵庫県信用保証協会 【深山農園株】	菌床栽培シイタケの収穫量予測プログラムの開発	神戸大学	(株)神戸大学イノベーション		2025年4月～2025年7月	研究費用面などにより中止
22	2025年度	新規	兵庫県信用保証協会 【深山農園株】	「兵庫県産もち麦」の認知度拡大と消費拡大戦略	神戸大学	(株)神戸大学イノベーション		2025年4月～2025年7月	同上
23	2025年度	新規	(株)ネクストビート	保育士養成コースの魅力アップ(流入数の増加) /就職後の離職率の低減(流出数の低減)	神戸常盤大学		○	2025年7月～2026年3月	
24	2025年度	2024年度から 継続	(株)マルヤナギ小倉屋	ひょうご育ちのもち麦の認知度向上と喫食の 機会の増加	兵庫県立大学 国際商経学部 「プロジェクト・ゼミナール」	横断型ゼミ課題での取組		2024年9月～2025年7月	
25	2025年度	2024年度から 継続	(株)山上	山上の魅力発信について	神戸国際大学 上田ゼミ	ゼミ課題での取組		2024年11月～2025年5月	
26	2025年度	2024年度から 継続	和田興産(株)	神崎郡神河町の古民家再生事業 「ラドーレ神河」の活性化	神戸国際大学 上田ゼミ、鍋嶋ゼミ	ゼミ課題での取組		2025年3月～2026年1月	

■2026年度予定(計:20件 新規 8企業+4自治体 9大学)

開始年度	新規/継続	企業名	提供課題	取組大学	取組方法	年度内終了	期間	備考(イベント・発表など)
2026年度	新規	(株)ソネック	B級品(規格外品)の有効活用	神戸親和大学 端・辻川・犬飼ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年4月～2026年9月	
2026年度	新規			甲南女子大学 瀧口先生	学生卒業での取組		2026年5月～2026年12月	
2026年度	新規	(株)TAT	ネイルサロンの利用率のUP	神戸学院大学 上先生	ゼミ課題での取組		2026年5月～	
2026年度	新規	日本通運(株)	未経験者・女性が物流業界に就くための 仕掛け作りや企業として取り組むべき事項	甲南女子大学 永野ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年5月～	
2026年度	新規	兵庫県信用保証協会	若者に愛されるお店を目指せ！マジックパン の課題解決プロジェクト	神戸松蔭大学 川口・作田ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年5月～2027年2月	
2026年度	新規			神戸学院大学 高岡ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年4月～2027年2月	
2026年度	新規	(株)みなと銀行	「みなと採用応援バック」における 企業課題解決及び登録学生の利用増加 について	神戸学院大学 岡本ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年7月～2026年12月	
2026年度	新規			兵庫大学 松本ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年6月～2026年12月	
2026年度	新規			神戸学院大学 石賀ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年9月頃～	
2026年度	新規			流通科学大学 前川ゼミ	ゼミ課題での取組		2027年3月～2027年8月	
2026年度	新規	(株)ロック・フィールド	ブランディングの結束強化ーロック・ フィールドのPR戦略を考える	流通科学大学 三浦ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年6月～	
2026年度	新規	六甲バター(株)	地域限定志向の学生に、国内・海外展開企業 はどのような価値を示せるか	神戸学院大学 岡本ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年7月以降～	
2026年度	新規			流通科学大学 前川ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年9月～2027年2月	
2026年度	新規	早駒運輸(株)	神戸リゾートクルーズ船「boh boh KOBE」の乗 船者増加策～神戸を五感で楽しむ～	甲南女子大学 佐伯ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年5月～2026年12月	
2026年度	新規	芦屋市	未来のまちづくりを加速させる「データ利活用」 のニーズ発掘と価値創出	神戸学院大学 金田ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年4月～	
2026年度	新規	神河町	神河町の特産品を使った商品の開発 (中村・粟賀町歴史的景観形成地区への歴史 あふれる芸術文化の導入)	神戸学院大学 社会連携部の学生団体	学部横断での取組		2026年6月～2027年3月	
2026年度	新規			関西国際大学 山本ゼミ	学部横断での取組		2026年5月～	
2026年度	新規	洲本市	『地域×大学』の軌跡を可視化するデジタル・ アーカイブの実践ー洲本市における関係人口創 出に向けた、インタビュー調査および発信メデ アの企画・構築ー	神戸学院大学 森下ゼミ	ゼミ課題での取組		2026年5月～	
2026年度	新規			神戸常盤大学 学部横断プロジェクト チームでの取組	ゼミ課題での取組		2026年5月～	
2026年度	新規	姫路市	姫路市内での教育研究活動(フィールドワー ク)プログラムの造成	神戸常盤大学 学部横断プロジェクト チームでの取組	ゼミ課題での取組		2026年5月～2026年12月	

大学別 プログラム参加件数(3カ年:2023～2025年度) 計47件(教員ゼミ)

※ 新規テーマをベースに集計、()内は前年からテーマ継続(参考)

大学名	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年合計	2026年度 (予定)	傾向
明石工業高等専門学校	-	-	1	1		
関西国際大学	3	(1)	-	3	1	
関西学院大学	3	(1)	-	3		
甲南大学	2	(1)	-	2		
甲南女子大学	-	-	2	2	3	2025年度以降、増加傾向
神戸大学	1	-	2	3		
神戸学院大学	2	-	7	9	6	ほぼ毎年参加
神戸国際大学	-	2	1(2)	3		
神戸松蔭大学	1	(1)	1	2	1	
神戸学院大学	-	-	1	1	2	
神戸親和大学	-	1	1	2	1	
神戸常盤大学	-	-	1	1	2	
兵庫県立大学	5	1(3)	1(1)	7		毎年参加、2026年度はなし
兵庫大学					1	
流通科学大学	-	3	5	8	3	ほぼ毎年参加
合計	17	7	23	47	20	

【テーマ型企業理解プログラム概要：2025年度実績】

目的：様々な分野（テーマ）で複数の企業を組み合わせた企業理解プログラムを作成し、大学生等に短期間で多くの企業を知ってもらうプログラムを提供することで、県内企業の魅力や、業界理解を深めることに繋げ、県内就職・定着を促進する。

実施内容

1. 参加者：5コース合計 72名
(内訳：3回生 31名、2回生 34名、1回生 7名)
2. 実施時期：2025年4月～2026年2月
3. 内容：座学・就業体験を含む数日～5日程度での実施。
地場産業や製造業などのテーマごとに5コース作成。
複数の企業で就業体験など企業理解を深めるプログラム。
4. 学生の業界・企業理解向上：
アンケートで「業界・企業理解が向上した」と回答する学生が9割(97.8%)以上

参考：R7事業目標

- ・参加者数：4コース×(10名～20名)
※県からのKPIは4コース×5名=20名
- ・学生の業界・企業理解向上
(アンケートで「業界・企業理解が向上した」と回答する学生が8割以上)



2025年度実施テーマ

- ①地場産業型(清酒)
白鶴・沢の鶴・菊正宗・神戸酒心館
- ②食品業界型(食品関連)
エム・シーシー食品・六甲バター
・ロック・フィールド・富永貿易
カネテツデリカフーズ
- ③地域型
あみだ池大黒・ユーハイム・コーヒーハウスフィールド
- ④業界型(製造業)〈みなと銀行と連携〉
バンドー化学・TOA・古野電気・日工
- ⑤情報産業型〈地域ICT推進協議会と連携〉
オプティム、神戸デジタル・ラボ、スクラムサイン
ワイドソフトデザイン・ベタビット、アイクラフト

各コースの詳細は次ページへ

①地場産業型(清酒) ※神戸学院大学と連携
白鶴・沢の鶴・菊正宗・神戸酒心館
参加学生：18名 (全て3回生)



■ 事前学習

- 2025/4/18 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
講師：永田氏 → 俯瞰的クリエイティブ思考講座
- 2025/4/25 株式会社Clear
講師：古川氏 → 日本酒市場の動向
「SAKE HUNDRED『現外』の物語」
- 2025/5/30 灘五郷酒造組合 宮水保存調査会
講師：家村氏 → 日本酒と『灘の酒』の産業と文化

■ 企業訪問

- 2025/6/13 沢の鶴株式会社
- 2025/6/20 株式会社神戸酒心館
- 2025/6/27 菊正宗酒造株式会社
- 2025/7/4 白鶴酒造株式会社
→ 製造工程・歴史・海外戦略等を学習
試飲・ポスター制作・社員交流を実施



■ 就業体験 イベント出展

- 2025/8/30 全国大学コンソーシアム
研究交流フォーラム(白鶴、沢の鶴出展)
- 2026/2/1 大人も子どもも震災を未来へつなぐ
(神戸ハーバーランドUmie)
- 2026/2/8 バレンタインに“チョコっと灘の酒”
(神戸北野ノスタ)
- 2026/2/20 神戸ルミナリエ×大学連携企画
チャリティ試飲イベントの寄付金贈呈式

■ アンケート結果

業界・企業理解が向上したと回答する学生：100%

- ・各社の違いを比べることができた。
- ・説明を聞くだけでなく、実際に見たり、触ったりと体験しながら、自分たちで考えていくことができた。
- ・社員の方と交流できて実際に働く姿を想像できた。
- ・酒造業界に関係するまた別の業界についても知りたいと思った。

②業界型(食品関連) ※関西国際大学と連携
 エム・シーシー食品・六甲バター・ロック・フィールド
 富永貿易・カネテツデリカフーズ
 参加学生：20名 (3回生 1名、2回生 19名)

■ 事前学習
 2025/8/22 関西国際大学
 → 事前研修(ビジネスマナー・食品業界の基礎理解)

■ 企業訪問
 2025/8/29 エム・シーシー食品株式会社
 → 業務用食品ビジネス・商品試食・マーケティング提案
 2025/9/1 株式会社ロック・フィールド
 → 中食ビジネス・惣菜文化・プロモーション提案
 2025/9/2 富永貿易株式会社
 → 食品商社ビジネス・棚割り調査・営業戦略
 2025/9/3 カネテツデリカフーズ株式会社
 → ねりもの開発・工場見学・商品企画提案
 2025/9/4 六甲バター株式会社
 → チーズ事業・工場見学・集客アイデア提案



■ 振り返り・発表
 2025/9/5-6 関西国際大学
 → 事後研修・発表準備
 2025/9/8 企業・行政向け報告会
 2025/11/8 学内報告会(大学祭)



■ アンケート結果
 業界・企業理解が向上したと回答する学生：93.8%
 ・食品業界について触れることは少なかった為、様々な企業の話聞き、食品業界という新たな選択肢が増えた。
 ・各企業で、顧客の手に届くまでの見えない企業努力や気遣いがあり、それらを理解し、強く関心を持つことが出来た。
 ・2年生のうちに企業の方と交流し、その会社の文化を知ることができ、就職活動に向けて意識を変えることができた。

③地域型 ※大手前大学と連携
 あみだ池大黒・ユーハイム・コーヒーハウスフィールド(株式会社ディーシーエス)
 参加学生：18名 (3回生 7名、2回生 11名)

■ 事前学習
 2025/9/26 - 2026/1/9 12回の講義にて「神戸・阪神間のスイーツ・コーヒー・紅茶について、その歴史や文化、さらに原材料となる作物など、多角的な視点からその価値を学ぶ」

■ 企業訪問
 2026/1/16 株式会社ディーシーエス
 → 企業説明・地域密着の事業紹介・業務用コーヒーマシン見学
 2026/1/16 株式会社ユーハイム
 → 企業理念説明「/0(スラッシュゼロ)」・菓子づくりのこだわり紹介・バウムクーヘン焼成体験(製品理解)
 2026/1/28 株式会社あみだ池大黒
 → 老舗菓子メーカーの歴史説明・阪神間の食文化紹介・製造工場見学

■ 振り返り・発表
 2026/1/28 大手前大学 W棟
 → 企業訪問における学びについてグループにて話し合い、グループ発表

■ アンケート結果
 業界・企業理解が向上したと回答する学生：100%
 ・実際に人事の方や工場の方の話を聞いて、雰囲気や仕事内容を知ることができた。
 ・ネットにある情報だけでなく、その企業にある人たちの生の声や目で見て学ぶことがたくさんあった。
 ・就職活動が始まる前の時期に企業理解に繋がる経験が出来てとても良かった。



④業界型(製造業) ※兵庫県立大学・みなと銀行と連携
 バンドー化学・T O A・古野電気・日工
 参加学生：11名 (3回生 4名、2回生 1名、1回生 6名)

■ 事前学習

2025/8/25 日工株式会社研修室(事前研修)
 → プログラム目的共有・自己理解の重要性説明
 ・5日間の学び方確認

■ 企業訪問

2025/8/25 日工株式会社
 → 会社説明・若手社員との懇談・工場見学
 2025/8/26 古野電気株式会社
 → 会社説明・社員座談会・ショールーム見学
 2025/8/27 T O A株式会社
 → 音響施設見学・技術体験・若手社員との交流
 2025/8/28 バンドー化学株式会社
 → 会社見学・新製品企画グループワーク・発表

■ 振り返り・発表

2025/8/29 兵庫県立大学 新長田ランチ
 → グループディスカッション
 ・学びの共有・就職活動への整理

■ アンケート結果

業界・企業理解が向上したと回答する学生：100%
 ・業界や企業に対する理解が深まった。
 ・これまで興味がなかった職種や業種も実は自分に繋がる部分があると知ることができた。
 ・製造業に対するイメージが変わり、製造業における文系出身者の働き方についても知ることができた。



⑤情報産業型 ※兵庫県立大学・地域ICT推進協議会と連携
 オプティム・神戸デジタル・ラボ・スクラムサイン・ワイドソフトデザイン・ペタビット・アイクラフト
 参加学生：5名 (3回生 1名、2回生 3名、1回生 1名)

■ 企業訪問

2025/9/9
 株式会社スクラムサイン
 株式会社ワイドソフトデザイン
 株式会社神戸デジタル・ラボ
 → 職場見学・会社説明、VR体験、若手社員との座談会

2025/9/10

アイクラフト株式会社
 株式会社オプティム
 ペタビット株式会社
 → 会社説明、若手社員キャリア紹介、社内案内、社員との座談会

■ アンケート結果

業界・企業理解が向上したと回答する学生：100%
 ・IT企業のことが細部まで分かった。
 ・内定までのプロセスが分かった。



兵庫県総務部教育課 受託事業

大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進事業(2025年度事業報告)

(1)大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進

・県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会(5回)

企業とキャリアセンターがお互いの情報を共有し、企業が求める人材育成像、学生と企業の有効なマッチング方法等多様なテーマで意見交換を行う。

開催日時	① 2025年8月30日(土) 10:00~12:10 「産・学・官でつなぐ ライフロングキャリア共創セッション及び情報交換会」	② 2025年9月20日(土) 15:15~16:20 「留学生採用に関する意見交換会」
開催場所	神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス D号館 会議室	兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station
協業		
参加者	(教職員) 16校 22名 (企業) 16社 26名 (行政等) 2行政 4名	(教職員) 9校 9名 (企業) 19社 29名 (行政等) 1行政 1団体 4名
開催日時	③ 2025年10月8日(水) 13:00~17:00 「企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE」	④ 2025年11月29日(土) 16:05~17:00 「企業・自治体・大学との交流会」
開催場所	神戸商工会議所 2F イベントホール	兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station
協業	神戸商工会議所	
参加者	(教職員) 19校 26名 (企業) 115社 458名	(教職員) 14校 13名 (企業) 15社 22名 (行政等) 3行政 5名
開催日時	⑤ 2026年2月16日(月) 14:30~17:00 「大学キャリアと人事担当者等との情報交換会・懇親会」	
開催場所	兵庫国際交流会館 3F 多目的ホール	
協業	株式会社みなと銀行、丹波地域人材確保協議会、淡路市商工会	
参加者	(教職員) 28校 38名 (企業・団体) 63社 3団体 100名 (行政等) 8行政 17名	



(2)学生に対する情報発信力強化

・県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会

県内中小企業の経営者・若手社員等が、地域に根差した先進的かつ実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。

①学生と企業・自治体との交流会

開催日時	2025年11月29日(土)14:40~15:35
開催場所	兵庫国際交流会館 3F多目的ホール、1F Nadacom Station
特徴	企業が求める人材像や働き方、仕事のやりがい等について、兵庫県内中小企業人事担当者と座談会形式で意見交換できる場
参加者	(学生)20校38名、(教職員)14校13名、(企業)15社22名、(行政等)3行政5名



②グループディスカッション

県内企業の人事担当者や経営者から、模擬面接や座談会を通して企業の採用視点や求める人材像を直接聞く。先輩から実際の体験に基づいた仕事のやりがいなど本音の意見交換を行うことで、県内企業への意識啓発を行う。加盟校キャリアセンター職員と中小企業の採用担当者や行政の担当者からグループディスカッションのフィードバックを頂く。

開催日時	2025年11月29日(土)10:00~11:50
開催場所	兵庫国際交流会館 3F多目的ホール
特徴	客観的な視点でグループディスカッションや面接を評価してもらうことで採用選考時の重要なポイントについて気づききっかけとなり、自分の得意・不得意分野を意識しながら成長・改善することで、今後に生かせる。また、参加企業とのネットワーキングを実施することで、地元企業理解・中小企業理解に繋がる。
参加者	(学生)21校49名 (教職員)14校13名 (企業)15社22名 (行政等)3行政5名



③グループ面接体験セミナー

加盟校キャリアセンター職員と中小企業の採用担当者や行政の担当者からグループディスカッションのフィードバックを頂く。

開催日時	2025年11月29日(土)12:35~14:30
開催場所	兵庫国際交流会館 3F多目的ホール、2F研修室1、研修室2、研修室3
特徴	集団面接(1次面接)を本番さながらに実施し、面接担当者からのフィードバックをもらう。面接における重要なポイントに気づききっかけとする。

参加者	(学生) 20校 38名 (教職員) 14校 13名
	(企業) 15社 22名 (行政等) 3行政 5名



④選考を通過するES・面接の本質とは!?【面接実践編】

11月に開催される「グループディスカッション&グループ面接体験セミナー」での学びを深めるため、各大学のキャリアセンター職員が連携し、イベント後に学生の面接指導等のフォローアップを実施する。

開催日時	2025年12月20日(土) 13:00~16:00
開催場所	兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station
協業	大手前大学・大手前短期大学、甲南女子大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸親和大学、流通科学大学
特徴	他学生とのグループワークを通し、第三者から見た自身の強みを見つけ、就職活動本番に向けて自信をつけ、より効果的に学生の就活力の向上を目指す。
参加者	(学生) 3校 8名、(教職員) 7校 6名

⑤ひょうご就職サミット

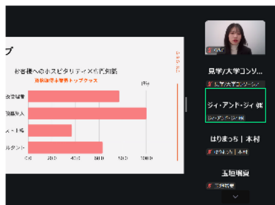
県内中小企業の経営者が参加する合同企業説明会。

開催日時	2025年10月9日(木) 12:00~16:00
開催場所	神戸国際会館 9F 大会議室
協業	兵庫県中小企業家同友会
特徴	兵庫県を代表する中小企業が集結し、経営者や人事担当者と直接話ができる。
参加者	(学生) 7校 15名 (企業) 8社 8名

⑥ひょうご企業研究フェア

兵庫県認定の「ワーク・ライフ・バランス表彰企業」を集めた合同企業説明会。

開催日時	2026年1月17日(土) 12:30~16:00
開催場所	スペースアルファ三宮・オンライン会場
協業	ひょうご仕事と生活センター、ひょうご・仕事情報広場、みなと銀行、はりまっち
特徴	全国でも先導的なWLB(ワーク・ライフ・バランス)の取り組みを行う兵庫県。WLBへの取り組みを宣言する企業約4,000社のうち、特に優れた「表彰企業」だけが出展できる企業研究フェア。学生が県の優良企業を知るきっかけとなる。
参加者	(学生) 44校 100名 (企業) 40社 40名



尼崎市経済環境局経済部しごと支援課
令和7年度インターンシップ等推進事業

①大学生等向けオープンカンパニー、②外国人留学生向けインターンシップ 実施報告書

【主催：尼崎市経済環境局経済部しごと支援課、大学コンソーシアムひょうご神戸】

① 大学生等向けオープンカンパニー

「1day 職場体験@あまがさき 2025」実施報告書

1. 実施概要

本事業は、尼崎市内の企業において、大学生等が半日～1日の職場体験を通じて企業と学生の相互理解を深め、地元就職への関心を高めることや若者の社会人基礎力の育成を目的として実施。1回のエントリーで学生が最大5社まで選択して参加できる仕組みやリクルートスーツ着用を義務付けないなど学生が気軽に参加できる工夫や、会社説明だけでなく実務体験や若手社員との座談会、ランチタイム交流会など、学生自身が企業で働くことをイメージしやすい内容にして、学生と企業の相互理解の促進をねらいとした。

- 実施期間：令和7年8月20日～9月11日
- 参加企業・行政：5社16名、尼崎市5名
- 内訳：株式会社日興商会、株式会社タクマ、株式会社三鷹倉庫、
日本山村硝子株式会社、株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎
- 参加学生：延べ22名（9大学等より参加）
内訳：大手前大学3人、関西国際大学2人、関西学院大学大学院1人、
甲南大学4人、神戸学院大学3人、神戸市外国語大学3人、
神戸親和大学2人、武庫川女子大学3人、コミュニケーション学院1人
- 対象：主に2027年3月卒業予定の大学・短大・高専学生（留学生含む）
- 実施形式：企業訪問型の1day 職場体験
会社説明、業務体験、座談会、ランチタイム交流会、グループワーク等



2. 参加企業別実施内容

株式会社日興商会（オフィス関連総合商社）

○事業内容：Face to Faceで顧客の課題に寄り添い、快適なオフィス環境を提案する商社

○実習テーマ：営業になりきって理想のオフィスづくりを体験しよう！

○実習内容：会社概要、業界説明、営業ロールプレイング体験、グループワーク、全体発表。

「行きたくなるオフィス」をテーマにしたワーク。参加学生が営業員の立場になり、お客様のオフィスの困りごとを解決するワークを実施。

○学生の声：営業職の本質を知り、顧客に寄り添う姿勢が大切だと学べた。face to faceの仕事に魅力を感じた

○企業の声：学生との接点を持てて良かった。外国人留学生の能力・意欲の高さを実感した



株式会社タクマ（プラント・エンジニアリング）

○事業内容：ごみ処理・発電・水処理施設の設計・建設を担うインフラ企業

○実習テーマ：人事部に配属されたとして、会社説明会で使用するスライドを作成に挑戦



- 実習内容：会社概要・業界説明・職場見学等、先輩社員との交流会。グループに分かれて、先輩社員の自己紹介、先輩社員へのインタビュー。「会社の魅力を学生に伝える」プレゼン資料の作成。課題のプレゼンテーションと社員からのフィードバック。
- 学生の声：環境やSDGsに関心があり、実際の企業の業務内容や若手社員の方の話が参考になった。
- 企業の声：個性ある魅力的な学生が参加してくれた。積極的な学生姿勢が印象的だった。

株式会社三鷹倉庫（物流業）

- 業務内容：倉庫業務から物流コンサルまでを担うトータルサポート企業
- 実習テーマ：ポチッとした商品が手元に届くまでを大解剖
- 実習内容：会社概要・業界説明・職場見学等、ネット物流体験
ピッキングや梱包作業を業務体験し、生産性ツールで作業時間の計測方法を学ぶ。ここだけの話「社会で役立つ物流の仕組みを大公開」
ランチタイム座談会(企業が軽食をご準備)「元人事責任者が就職や面接の悩みに答えます」
- 学生の声：物流の仕組みを実体験できた。倉庫作業と事務作業の両方を知れて良かった。社員の方の温かさが印象的だった。
- 企業の声：学生や留学生とふれ合う機会が持ててよかった。
ネットを使った、学生等との交流ツールを使う必要性を感じた。



日本山村硝子株式会社（製造業）

- 事業内容：ガラスびん・プラスチックキャップの製造・販売、最先端素材の開発
- 実習テーマ：“フタ”を開ければわかる？キャップから広がるモノづくりの世界
- 実習内容：会社概要・業界説明・職場見学等・先輩社員とホンネ座談会
体感ワーク「プラスチックキャップができるまで」
持参した好きな飲み物のキャップの開けやすさから知る企業の技。
課題解決グループワーク「キャップトラブルを解決せよ！」実際にあったトラブルをどう解決するか？
社員のアドバイスを受けながら、実際の仕事の流れや役割をダイレクトに学んだ。
- 学生の声：身近な製品の製造工程を知り、やりがいを感じた。社員の方が親切で、会社の雰囲気がとても良かった
- 企業の声：多くの学生が集まったことが良かった。欠席者対応が早く判明させるなど、改善できたらよい。



株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎（サービス業）

- 業務内容：都市型・リゾート型ホテルを全国展開するホスピタリティ企業
- 実習テーマ：サービスの提供者目線で、世の中を見てみよう
- 実習内容：会社概要・業界説明等、館内見学、サービス体験
「激変するホテル業界で、選ばれるホテルになるためには」
知ってトクするマナー研修。ホテルのフロント業務体験。
ティータイム座談会「人事担当者が就活の悩みに答えます」
- 学生の声：接客業の心構えが学べた。
ケーキが美味しく、座談会で色んな質問ができて就活の参考になった。
地元・尼崎ならではの温かく柔らかなホスピタリティに触れたことで、「人に寄り添う仕事」の魅力を肌で感じる事ができた。
- 企業の声：学生がホテルや観光業に興味を持ってくれたことが嬉しい



3. アンケート結果と考察

①尼崎で働く魅力とは？ 参加学生からは、尼崎市の魅力についても多くの声が寄せられた

- 「大阪・神戸へのアクセスが良く、通勤に便利」
- 「地元で働ける安心感がある」
- 「商店街や施設が充実していて暮らしやすい」
- 「実家から通える距離で、生活面でも不安がない」

尼崎市が誇る“住みやすさ”と“働きやすさ”が、若者の視点からも再確認できた。

②学生アンケートから見えた成果と改善点

- 参加満足度：5点満点中「5点」評価が最多（19人/22人）
- 内容の理解度：「業界・職種」「仕事の流れ」「企業の特徴」などが高評価
- 参加のきっかけ：「大学からのメール」「キャリアセンターの紹介」が中心
- 参加しやすさ：「1dayで気軽に参加できる」「他大学の学生と交流できた」などの声
- 改善点：「もっと多くの企業に参加してほしい」「オンライン説明があると安心」

③参加協力企業から見えた成果と改善点

- 参加満足度：「とても良かった・よかった」100%
- 学生との交流で知ったこと：学生の就職に対する考え方、学生の仕事観、会社の課題
- 良かった点：個性ある魅力的な学生さんに出会い、繋がることができた
自社や業界のこと、仕事の魅力を学生に知ってもらえた
外国人留学生の能力・モチベーションの高さを知れた
- 改善点：応募多数の場合、抽選で決められるようになるといい
開催前から学生やり取りができたらしい
学生がもう少し集まれば良い（但しエージェントや自社独自も難しいが…）

個性豊かな学生や留学生の高い意欲に触れることを通じて、企業側も自社の魅力や課題を見つめ直す機会となったと思われる。今後は、より双方向性を高めた設計や事前交流の仕組みを取り入れ、企業と学生が出会うだけでなく、互いに学び合える場として、さらに価値ある取り組みへと進化できればよいと感じた。

4. 今後の展望について

本事業に参加した学生は、尼崎市内の企業を実際に訪問し、業務を深く知り、職場の雰囲気や社員の姿に触れることで、企業理解を深めるとともに、自身のキャリア形成について考えるきっかけを得ることができた。また、企業側にとっても、若者との接点を持ち、価値観を知ることで、採用活動や地域貢献の新たな可能性を見出す機会となり、双方にとって価値ある取り組みであったと考えられる。

今年度の参加学生募集は、近年の超売り手市場の影響による就職活動の早期化・多様化により、目標値は超えたものの苦戦を強いられた。特に、大学3年次の夏季休暇期間は、インターンシップや企業研究が集中する時期であり、学生の選択肢が増える一方で、地域密着、地元就職が特徴の当プログラムへの参加の動機づけが難しくなっている現状がより明らかになった。それでも、参加した学生・企業双方からは「参加してよかった」「地元の魅力を再発見できた」「社員の温かさに触れた」「働くイメージが湧いた」といった前向きな声が多く寄せられた。これは、尼崎市という地域と、そこに根ざす企業が、学生にとって十分に訴求力を持っていることの証であり、今後の可能性を示す重要な成果であるとも言える。

また、本事業で学生は、グループワークや社員との対話を通じて、コミュニケーション力、課題発見力、チームで働く力など、社会人として必要な基本的な能力を実践的に体験することもできた。これは本事業が、単なる企業理解にとどまらず、学生の成長を促す教育的な意義も持つ取り組みであり、企業訪問を通じて「社会人基礎力」の養成にも寄与できたと言える。

一方で、こうした魅力をどのように伝え、どのように学生と企業をつなぐかという点は、今後ますます困難な課題となっていくことが予想される。学生の情報収集手段や価値観が多様化する中で、従来型の広報や募集方法では明らかに学生に届きにくくなっている。大学内イベントとの連携、短時間・低負担で参加できる交流企画、もしくは、選考直結型などがその解決策の一つになるのではと考える。

総じて、本事業は、地域と若者をつなぐ「きっかけづくり」として価値を持つものであったといえるが、今後もその意義を継続・発展させるためには、学生の変化に対応した新たな接点の創出が不可欠である。大学コンソーシアムひょうご神戸としては、キャリアセンター職員をはじめ、大学教職員や行政、企業と連携して、これらの課題に挑み続けていきたい。

②外国人留学生向けインターンシップ

「ひょうご留学生インターンシップ」実施報告書

1. 実施概要

少子高齢化による労働力不足の課題の解消に向け、増加傾向にある外国人留学生を地域の人材として育成・定着させることを目的として実施した。2025年度で17年目を迎える「ひょうご留学生インターンシップ」の枠組みを活用し、市内企業と留学生の出会いの場を創出した。企業には留学生の特性や意欲を理解いただき、採用への機運を高めるとともに、留学生には日本企業での実務体験を通じて日本での就職やキャリア形成を支援した。これらの取組を大学コンソーシアムひょうご神戸が軸となり、行政・企業・大学が連携して実施することで、深い相互理解を促すことが本プログラムの特徴である。

- 受け入れ企業：尼崎市内企業6社（全体では28社）
- 参加留学生：尼崎市内企業5大学, 16名, 8カ国（全体では13大学、83名、15カ国）

企業名（受入れ人数）	留学生所属大学	国籍
株式会社 eftax(4名)	神戸大学、兵庫県立大学（2名）、流通科学大学	インドネシア（2名）、タイ、マレーシア
株式会社大林（1名）	流通科学大学	ミャンマー
大和建工材株式会社（3名）	神戸国際大学(2名)、流通科学大学	ベトナム(2名)、インドネシア
株式会社フジ・データ・システム（3名）	園田学園大学、流通科学大学（2名）	ミャンマー、インドネシア、バングラデシュ
株式会社ヤマシタワークス（3名）	神戸大学、神戸国際大学、流通科学大学	中国、ベトナム、香港
山村ロジスティクス株式会社（2名）	流通科学大学(2名)	中国、ベトナム

2. インターンシップ実習の流れ

留学生や企業の受け入れ前から受け入れ後までの支援を一貫して実施

4月～5月：受入れ企業募集、参加留学生募集

5月22日（木）15～16時：受入れ企業オンライン説明会

6月3日（火）18時～20時30分：留学生ガイダンス

6月7日（土）午前：留学生事前研修



6月7日(土)午後:受入れ企業と留学生の交流会&企業へのエントリー

7月~8月:留学生の受入れ企業への事前訪問

8月~9月:留学生インターンシップ実習

9月20日(土):13時~17時ひょうご留学生インターンシップ2025報告会・意見交換会・修了証書授与式

3. 各プログラム詳細・所感・今後の展望

5月22日(木)15~16時:受入れ企業オンライン説明会

形式:オンライン (Zoom 利用)

目的:留学生インターンシップの受入れ企業が、その意義を理解し具体的な対応方法や実施スケジュールを把握し、企業内で留学生インターンシップの効果が最大限得られ、留学生の採用促進に繋げること。

担当:大学コンソーシアムひょうご神戸 キャリア国際チーム次長 鈴木 真紀子
講師:兵庫県国際交流協会 日本語講師 関西学院大学 非常勤講師 福井 武司氏
内容:

◎インターンシップの概要、過去の実績、企業が対応すべき事項、実習形式(就労体験型・テーマ型)の違い、受け入れ企業の声などを紹介。

◎留学生とのコミュニケーションの工夫や「やさしい日本語」の活用方法の教示、企業が安心して受け入れを進められるように支援する内容の日本語

テーマ:留学生との距離が“ぐっ”と縮まるやさしい日本語研修 ~「伝える」から「伝わる」へ~

所感:留学生インターンシップに初めて参加する企業には、プログラムの特徴や実習内容の組み立て方、留学生との接し方において「やさしい日本語」の活用などを紹介し、受け入れ時の言葉使いの工夫や楽しさも伝えた。留学生ならではの配慮が必要な場面とそうでない場面の理解は進んだものの、事後アンケートでは「実習プログラムの作成が難しかった、作成の支援が欲しかった」との声もあり、具体的な実習内容の十分な理解には至らなかったと思われる。課題として認識し、今後はより委細丁寧に、実践的な内容のものを実施するようにする。

6月3日(火)18時~20時30分:留学生ガイダンス

6月7日(土)午前:留学生事前研修

場所:兵庫国際交流会館

目的:「社会で働くということ」を起点に、日本の就職活動や企業文化への理解を深め、職場への適応力を養うことで、留学生が安心してインターンシップに臨めるよう支援すること。インターンシップを通じて自身の強みや関心を明確にし、就職活動と結びつけることで主体的な学びを促すこと。これらの教育を受けた留学生が企業で活躍することで、企業に留学生を単なる人手不足対策としてだけでなく、国際性と多様性を活かす人材として認識してもらうこと。

講師:(株)学生情報センター 榎田 華代

内容:

◎インターンシップについて (インターンシップの目的)

◎インターンシップ参加にあたり必要なこと (働くとは、自己分析、マナー等)

◎ケーススタディ (事例を用いてどのように行動するかを考える)

◎交流会に向けて (交流会のポイント、企業の魅力を知る、参加の心得、自己PR)

◎社会人としての心構えや企業理解の促進

◎午後からの企業との交流会に備えた自己PRや志望動機の整理



所感： 社会で働くとは何か」「日本企業で働くには」「インターンシップまでの準備」「交流会にむけた心構え」に重点を置いた講義と、他大学の留学生とのグループワークを実施した。参加した留学生からは、企業情報の収集・分析や自己分析の重要性、準備すべき内容への理解が深まったとの声が寄せられた。グループワークでは、他大学や異なる文化背景を持つ仲間の意見を聞く楽しさや協働の大切さを実感したようだった。留学生たちは開始前から着席し、講義中も積極的にメモや撮影を行い、発表にも意欲的に参加。研修後の振り返りでは、95%が日本企業への理解が深まったと回答した。今後も留学生が目標を見つけ、成長できるよう支援していきたいと強く感じた。

6月7日(土) 13時~17時 受入企業と留学生の交流会&企業へのエントリー

目的： ざっくばらんな交流で、企業と留学生がそれぞれの魅力を伝え合った後、留学生がインターンシップをしたい企業へ直接エントリーをすることで、留学生の熱意を企業に知ってもらい、双方のミスマッチを防ぎ、より効果的なインターンシップ実習を実施すること。

内容：

◎企業との交流会（各社15分×5セッション）

◎留学生エントリー（留学生がインターンシップ志望企業に履歴書を提出）

※企業の留学生の受け入れの可否は3日後にコンソ事務局へ連絡、事務局から留学生、所属大学へ連絡

所感： 留学生が多様な業界や企業、経営者、人事担当者と出会い、業界研究やネットワークづくりを行う貴重な機会であった。企業にも、留学生の特性を知り、自社を知ってもらう場となり、将来の採用に繋がる出会いの場となったように思われた。学生は希望企業を選ぶだけでなく、企業から選ばれる意識も求められ、双方の熱意がひしめき合い、熱気があふれる会となった。統括を発表した留学生が「挑戦しないと成長できない。企業の方には、自分達の夢と熱意を信じてほしい」と語ったのが印象的だった。より多くの企業でのインターンシップが実現し、留学生の日本での就職と成長に繋がりたいと強く感じさせられる会であった。



7月~8月：留学生の受入れ企業への事前訪問

目的： 留学生のインターンシップに対する目標の発表や実習期間、業務内容、職場環境等を企業と留学生が直接確認し合い、企業と留学生が安心して実習に臨める環境をつくること。また、文化的背景や言語面での配慮事項も確認し、円滑なインターンシップを促進すること。

内容：

◎大学コンソーシアムひょうご神戸職員の引率のもと、留学生や時には留学生の所属大学 職員も、企業を訪問する形式で実施（オンラインの場合もあり）

◎留学生による目標やインターンシップ先の企業研究の発表

◎実習日時、業務内容、企業でのルール、保険、通勤経路等の確認

◎最終の受け入れの合意と契約書の締結

所感： 留学生と企業が、交流会時より深く具体的な内容で意見交換し、インターンシップの目標や業務内容、職場環境などを確認することで、双方が安心して実習に臨める関係づくりを進めた。円滑な受け入れ体制を構築するため、宗教等の文化的背景（お祈りの時間・場所の確保や食べ物）や言語面への配慮も共有された。留学生からの企業研究や目標の発表も概ね意欲的で、企業との最終合意を経て、実習へ高い意識をもって挑む姿勢を確認し合った。

8月～9月：留学生インターンシップ実習（以下の内容は留学生の実習日誌から抜粋）

株式会社 eftax 4名受入れ

（実習内容等）

「HaloDish」と「SUGEE Housing」という外国人向けの食と住に関する2つの事業に関わりまし

た。ハラル対応の食アプリ「HaloDish」では、

SNS投稿の企画やインドネシア語の記事の校正、企業やモスクへの調査、PR動画の編

集などを担当しました。外国人向け不動産の「SUGEE Housing」では、プロモーションのため、動画制作やGoogle広告のキーワード調査など、マーケティングの実務を経験しました。初めてのことばかりでしたが、チームで協力しながら進めることで、自分のアイデアを形にする楽しさを知りました。



株式会社大林 1名受入れ

（実習内容等）

フィルム製造会社にて業務説明、安全管理研修、製造現場での体験実習を通じて、製品の製造工程や品質管理の重要性を学び

ました。包装・出荷準備作業では、効率的な作業手順やチームでの連携の大切さを実感しました。社員の方々が丁寧に教えて

くださり、安心して質問できる環境でした。最終日には社員との意見交換や実習報告書の作成を行い、実務と企業の理解を深

めました。業務を正確に行うための小さな確認作業を大事にする姿勢が印象的で、仕事に対する責任感を学ぶことができました。



大和建工材株式会社 3名受入れ

（実習内容等）

工場見学を通じて製品の製造工程を学び、溶接・研磨・梱包などの作業に触れながら、品質管理や安全対策の重要性を知ることが

できました。また、見積書作成に関する課題にも挑戦し、業務の流れや効率化の視点を学びました。社員の方々との意見

交換では、自分の考えを積極的に伝えることの大切さを改めて痛感しました。また8月の猛暑日の中での実習では、午後3時

にアイスクリームをいただく時間があり、日本の職場文化の温かさにも触れることができました。



株式会社フジ・データ・システム 3名受入れ

（実習内容等）

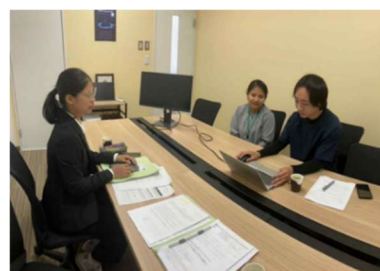
ソフトウェア開発やAI活用に関する実習を行いました。

会社概要や品質管理システムの説明を受けた後、Python

を用いたAIプログラミングやC言語による開発演習、

Arduinoを使った組み込み開発を体験。IT技術への理解

を深めるとともに、実践的な開発スキルを習得できました。また、最終日には課題提案と成果発表を行い、緊張しましたが達成感がありました。技術だけでなく、プレゼンテーションやチームワークも学ぶことができ、将来の日本で仕事をする事についての自信ができました。



株式会社ヤマシタワークス 3名受入れ

(実習内容等)

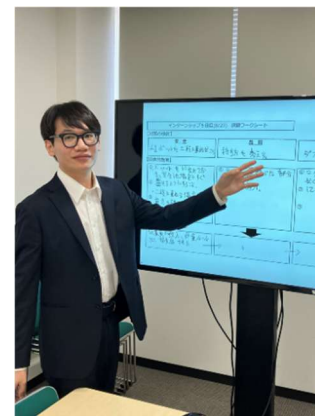
代表製品である AEROLAP で金属部品の研磨や組み立て作業を通じて、製造業において製品の完成度や丁寧に作業をすることの重要性を学びました。ノギスの使い方や部品の扱い方など教えていただき、実際に自分が使っていたマシンの組み立てを体験できたことに感動、ものづくりの面白さを実感しました。また、外国籍社員との交流では、日本企業で働く良さや外国人が働く上での工夫などを聞き、自分が日本で働く将来をより明確にイメージできるようになりました。



山村ロジスティクス株式会社 2名受入れ

(実習内容等)

物流現場でのピッキング作業を通じて物流業務の流れや工夫を学びました。各部署での就業体験を重ねる中で、業界研究や改善事例の共有、ワークシート作成などを行い、業務理解を深めました。職場には質問しやすい雰囲気があり、わからないことがあってもすぐに聞ける環境でした、自分から積極的にコミュニケーションをとることで、仕事への理解が深まり、それによって、主体的に作業へ取り組む姿勢を身に付けることができました。企業の方から「採用したい」と言ってくれたことが、とても嬉しかったです。



所感:インターンシップ実習では、留学生が多様な業界で実務を体験し、専門知識だけでなく、日本企業の特徴であるチームワーク、個人の主体性、日本語や逆に言語力に左右されないコミュニケーション力を高める貴重な機会となったと感じる。IT、製造、物流、情報通信など幅広い分野で、実際の業務に携わりながら、自分のアイデアを形にする喜びや、現場での責任感、効率的な作業の工夫、日本企業で働く上での文化的な理解も深めることができたのである。これらは企業側の丁寧な指導や温かい対応により、留学生が安心して挑戦できる環境が整ったことによるものである。インターンシップ最終日の発表や社員との意見交換を通じて、自信と成長を実感すると同時に将来のキャリアをより具体的に描ききっかけにもなり、日本で働くことへの意欲が一層高まったのではないと思う。

9月20日(土):13時~17時ひょうご留学生インターンシップ2025

報告会・意見交換会・修了証書授与式

目的:本報告会・意見交換会は、ひょうご留学生インターンシップ・プログラムの修了生、受入企業、大学教職員が一堂に会し、学生の学びを共有するとともに、異なる立場からの率直な意見交換を通じて、今後の働き方やキャリア形成について考える場を提供するため。また、学生の成長を言語化し、企業・大学との相互理解を深める機会として位置づけている。

内容:以下①~⑤で構成

①実習成果報告会

インターンシップを終えた留学生10名が、PPTを用いて、「印象に残ったこと」「学んだこと」「できるようになったこと・新しい発見」の3テーマで発表を行った。緊張しながらも、それぞれの視点で成長や気づきを言語化し、企業の方々からは「学生がインターンシップで学んだことや気付いたことが、自分達が感じていた以上だったことに驚いた。留学生の役に立てた事が感じられてよかった」といった感想があった。



②留学生×企業×大学による意見交換

12グループに分かれ、留学生・企業・大学による意見交換を実施。

留学生は実習で感じた疑問やギャップを共有し、企業や大学側がそれに応答する形で対話が進められた。企業の仕事観や価値観に触れながら、留学生はチームワークの重要性や自分の意見を伝えることの意義を実感。企業側も留学生の視点から新たな気付を得る機会となった。

留学生の意見

- ・各部門が協力し合うことで、迅速な問題解決や市場への柔軟な対応が可能になり、企業全体の競争力が高まることを学んだ
- ・自分の意見を表現することは恐れるべきではなく、むしろチームに貢献できると実感した
- ・仕事はチームで進めるもの、チームワークの重要性を改めて実感した
- ・明るい笑顔での挨拶は何より重要、上手いくコツ

企業の意見

- ・新鮮な視点での質問により、業務改善の課題に気づくことができた
- ・留学生の熱量、積極性が他の社員にも良い影響を与えてくれた
- ・インターンを経て、希望が合えば入社も検討してほしい
- ・自分達が気付いていない、日本製、日本式の良さを気付かせてくれた。
今後はその点も重視していきたい
- ・上手く意志疎通ができなかった時、日本語力が業務理解力かどちらが原因なのかの判別が難しい

③事後研修

講師：㈱学生情報センター 榊田 華代氏

留学生のみでインターンシップ経験を就職活動にどう活かすかを考える講義とグループワークを実施。

「企業選びの基準」「給料と休日の優先順位」などのテーマで活発な意見交換を実施。日本企業への就職を希望する理由として、インターンシップを経て、さらに強くなった日本製品や職場文化への憧れが語られ、留学生の熱意と将来への意欲を感じられた。

④大学×企業との交流会

意見交換会の総括では、大学から「留学生が企業で活躍できる場があることを実感できた」とのメッセージが伝えられた。企業が学生に求める役割やスキルを留学生を指導する大学側の理解を促進する貴重な機会となった。また、大学が留学生の教育において重視している点も伝えられ、相互理解が進んだ。大学側からの企業への感謝とともに、今回の経験を今後の留学生の学びの定着や就職活動支援に活かすと述べられた。

また企業と大学間での今後の採用定着に繋がる、関係性の構築も積極的になされた。

⑤修了証書授与

日本の卒業式のように一人ずつ名前を読み上げ、留学生が返事、一礼をするスタイルで実施。厳かな雰囲気を出し出すことで、プログラム自体の価値を高める効果を狙った。

所感：本報告会・意見交換会は、産官学連携による留学生インターンシップの成果を共有し、留学生が実習を通じて得た学びを将来のキャリアにどう活かすかを発表し、プログラム中に感じた疑問や本音を大学の見守りのもと、留学生と企業の双方が率直に語ることで、留学生・企業・大学の相互理解を深め、多様な立場から働き方を考える機会とすることを目的に開催した。学生にとっては、複数企業との交流を通じて日本企業に求められる姿勢やスキルを、自身のインターンシップ経験とともに改めて自分自身へと落とし込む機会となり、企業側からも留学生の自分達の視点にはない気付きや、他社の取り組みを知り、参考になることが多かったという声があり、留学生採用を促進する機会となったと感じる。修了証授与では企業・大学の方々が学生と交流する姿が多く見られ、今後も三者にとって有意義な出会いの場を提供していきたいと感じた。



外国人留学生の就労支援の展開

作成年月日	令和5年5月10日
作成部局	労政福祉課・国際課

県内の外国人留学生在籍数は、全国でも上位 H28-R2(平均) 7,761人 (全国比 3.8%)
 県内での就職者数は、在籍数の全国比と乖離 H28-R2(平均) 626人 (全国比 2.4%)

- ・ 留学生の県内就職促進体制の構築
- ・ 企業の受入れ体制の強化

1 外国人留学生採用ワンストップ相談窓口

(1) 外国人留学生採用ワンストップ相談窓口

- ① **目的**：外国人留学生と県内企業の効果的なマッチング
採用から採用後の職場定着までをワンストップで支援
- ② **対象**：留学生（既卒の就職者を含む）
留学生採用を検討/採用している企業
- ③ **内容**：アドバイザーによる相談対応、
入社前・後の企業訪問、大学での出張相談
- ④ **場所**：大学コンソーシアムひょうご神戸内
神戸市中央区脇浜町1丁目2-8
兵庫国際交流会館1階
- ⑤ **事務局**：一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
- ⑥ **開所日**：令和5年5月12日(金)

資料4 - 3③

(2) 開所式の実施

- ① **日時**：令和5年5月12日(金) 10時30分～
- ② **場所**：上記窓口設置場所（兵庫国際交流会館1階）
- ③ **参加者**：兵庫県知事、大学コンソーシアムひょうご神戸理事長
企業・留学生・大学
- ④ **内容**：県・大学コンソーシアムひょうご神戸による趣旨説明、
看板設置、企業・留学生・大学によるメッセージ（ほか）

【参考】外国人留学生採用促進セミナー

- ① **実施日**：令和6年2月（予定）
- ② **対象**：県内企業 30社程度
- ③ **内容**：留学生に対する理解促進
留学生受入に関する留意点、先進事例紹介 等

【問合せ先】産業労働部国際課
 078-362-3328（内 3568）

2025年度 外国人留学生採用ワンストップ支援事業 実施報告書

【事業目的】

- ・兵庫県内企業の留学生の採用から定着までの支援
- ・留学生の兵庫県内企業への就職から定着までの支援

【受託内容】

- ① 外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置
 - ・留学生、企業への窓口相談
 - ・留学生への合同企業説明会やインターンシップ等の紹介
 - ・企業への専門家アドバイザー派遣
- ② 外国人留学生採用促進セミナーの開催

【受託金額】

6,291,000円

【活動指標】

県内企業に就職した留学生の割合 R9年度 3.8%

(※留学生の就職は複数要因があるため、数値結果は当事業だけに起因するものではない)



【実績報告】

- ① 外国人留学生採用ワンストップ相談窓口（以下、相談窓口と記す）

a: 実績

- 1) 相談数：[企業] 127社 148件 [留学生] 175名 286件
- 2) 県内企業採用実績：30社 30名
- 3) 県内企業での新規留学生インターンシップ受け入れ実績：8社(うち7社が留学生採用初挑戦)
- 4) その他、窓口業務の詳細については、巻末の図1ご参照

b: 相談窓口の連携先

多様な機関との連携を維持するとともに、新たに日本語教育系の機関との関係性の構築を強化した。

- ② 外国人留学生採用促進セミナーの開催（別紙報告書ご参照）

【連携機関】

兵庫県産業労働部労政福祉課・外国人雇用HYOGOサポートデスク(兵庫県経営者協会)・兵庫県労働局・ハローワーク神戸・神戸新卒応援ハローワーク・大阪外国人雇用サービスセンター・大阪出入国在留管理局神戸支局・兵庫県行政書士会・兵庫県社会保険労務士会・尼崎市しごと支援課・尼崎国際化支援コンソーシアム・姫路市政策局高等教育室・ひめじグローバル人材育成コンソーシアム・神戸商工会議所・尼崎商工会議所・姫路商工会議所・ひょうご海外ビジネスセンター・神戸海外ビジネスセンター・JETRO 神戸・JICA 関西・兵庫県国際交流協会(HIA) 関西高度外国人材地域活躍コンソーシアム・ひょうご日本語ネット実務者会議・日本学生支援機構・大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 34校

【相談窓口の連携実績】

	イベント名	実施日	実施場所	連携機関・参加者数等	実施内容
1	グローバルジョブフェア@神戸大学	4/30	神戸大学	企業15社・留学生110名程度	神戸大学・大学院生向けの合同企業説明会で、留学生ワンストップ相談窓口およびインターンシップの広報活動、就職活動アドバイス、留学生採用企業との関係性構築
2	合説へGO！ (Let's go setsu) ガイダンス	6/25	大学コンソ	白鶴酒造(株) カネテツデリカフーズ(株) ダイナックス工業(株) ヤマシタワークス(株) JICA関西・JETRO神戸 留学生21名	同日開催の外国人合同企業説明会に参加したことのない留学生が、就職活動のはじめの一歩を踏み出せるよう後押しする目的で実施。日本独自の就職活動を理解するため、日本語講座と企業交流を組み合わせたプログラムを実施した。4社との対話を通じて日本就職に必要な準備を日本人学生も交えて学び、共修、相互理解を深めた
3	兵庫県・神戸市外国人合同企業説明会	6/25	サンボーホール	76社・外国人1706人	ブース出展し、主に大学、日本語学校生に対し、合説会場の巡り方、企業説明、日本の就職活動のアドバイス、ワンストップ窓口の登録勧奨。同時に、日本語力が低い留学生や英語トラック留学生に、日本企業を知る機会をつくり、日本就職のスイッチをいれるため、事前に数社に英語での企業説明を依頼し、留学生の訪問をアレンジした。
4	外国人雇用・就職支援連絡会議	7/8	大学コンソ	ハローワーク(神戸新卒応援) 大阪出入国在留管理局神戸支局 外国人雇用HYOGOサポートデスク 兵庫県産業労働部国際課 能力開発課	留学生の採用・定着に関する行政機関との情報共有や関係構築。県内企業動向と留学生の就職活動に関する意見交換、兵庫県産業労働部能力開発課のひょうごグローバル人材活躍企業認定制度の説明等。多様な関係者が一体となり、外国人定着を進める機運醸成
5	ひめじグローバル人材育成コンソーシアム	8/22	姫路市内	株式会社ニテリン 姫路市職員・留学生12名	姫路市の高校生と留学生の国際交流ツアーの工程に、株式会社ニテリンの工場見学を組み込んだ。海外13拠点を持つ企業で、祈禱室の設置など外国人材への配慮も進んでいる同社で、中国・タイ・ベトナム出身の社員4名との意見交換の機会を提供
6	国際フロンティア産業メッセ	9/4	神戸国際展示場	兵庫県行政書士会	海外展開や外国人材活用を支援する機関として、兵庫県行政書士会と連携して、外国人留学生ワンストップ相談窓口のプレゼンを実施
7	尼崎国際化支援コンソーシアム	2/2	尼崎市 中小企業センター	ハローワーク・商工会議所 経営者協会・尼崎信用金庫 国際交流協会・園田学園大学 関西国際大学・阪神南泉民局 尼崎市しごと支援課	外国人定着促進を目的とする、同市の産官学金が集う情報交換にオブザーバーとして参加。情報収集、関係性構築と窓口周知を実施
8	企業向けやさしい日本語研修 「みんなに伝わる職場のことは」～やさしい日本語でミスコミュニケーションをふせぐ～	4/3	株式会社関通(物流業)	株式会社関通	日本人従業員や管理者が、技能実習生等と円滑にコミュニケーションを取り、安全な安心な職場定着の促進を目指した研修。現場作業から人事面接、生活支援まで使えるやさしい日本語研修
9	企業向けやさしい日本語研修 「留学生との距離が“ぐっ”と縮まるやさしい日本語研修～「伝える」から「伝わる」へ～	5/22	大学コンソ(オンライン)	留学生インターンシップ 受け入れ企業約18社	留学生のインターンシップを受入企業に対し、留学生と接する社員の戸惑いや不安感を軽減することを目的に、留学生との円滑なコミュニケーションのための工夫や、やさしい日本語の活用方法を教示。安心して留学生を受け入れ、社内理解の促進をねらいとしたやさしい日本語研修
10	企業向けやさしい日本語研修 歩み寄りの手法「やさしい日本語」を学ぼう！	1/17	流通科学大学	神戸商工会議所・流通科学大学 神戸中央青果(株)・(株)三鷹倉庫(株) リサブレア・(株)ティーハウス建築 設計事務所 カワサキグリーンテック(株) 留学生39名	企業と外国人留学生との企業研究会に先立ち、企業の心理的ハードルを下げ留学生と円滑に意思疎通を図ることを目的とした、やさしい日本語研修 1社10分(説明5分・質疑5分)を5回転で実施し、留学生が各企業ブースを順番に回る形式の交流会。企業は短時間で自社PRと質疑に応じた。事前に学習したやさしい日本語での説明により、仕事内容や留学生への期待が理解しやすい機会を提供
12	企業と外国人留学生との企業研究会				
13	ひょうご留学生インターンシップ	6/2～ 9/18	大学コンソ	兵庫県内企業21社 (全体28社) 留学生83名	留学生にインターンシップの機会を提供し、日本の企業文化や働き方の理解を促進する。企業には留学生の能力や意欲への理解を深めてもらい、受入体制の整備を支援する。産官学が連携し、地域経済を支える高度外国人材の育成と県内定着を図る仕組みづくりの促進。 参加留学生の日本就職率は75%
14	就活セミナー (模擬面接・グループディスカッション・企業との交流会)	11/29	大学コンソ	企業15社、学生49名 (うち10名が留学生) 兵庫県総務部教育課受託事業	主に2027年卒業予定者を対象に、実践的なグループディスカッションや面接の練習の場を提供。積極的な留学生への参加勧奨の結果、参加学生の2割が留学生となった。大学キャリアセンター職員や県内企業担当者から多角的なフィードバックを受け、学生の自己理解と議論力向上を促す。企業には学生の最新動向や採用手法の理解を深める機会を提供
15	企業と大学キャリアセンターとの 情報交換会	2/16	大学コンソ	(株)みなと銀行・淡路市商工会 丹波地域人材確保協議会 企業63社3団体 大学28校 兵庫県総務部教育課受託事業	人材に関する9つのテーマでの県内企業と大学等キャリアセンターとの意見交換会。留学生採用を最重要テーマに挙げた企業が全体の1割、加えて、約半数が留学生雇用に前向きとの回答。日本人学生の確保が厳しい状況下、留学生を地域の人材と捉えられていた現状の確認と意見交換
16	大阪出入国在留管理局神戸支局との 無料相談会	毎月 第2 水曜	大学コンソ	神戸出入国在留管理局 年7回開催	正しく安全に留学生が日本で定着するために、多様な相談対応を実施。留学生を初採用する企業への説明、留学生の専攻と応募業務との整合性の確認、就職活動延長の特定活動の際の条件確認、パスポートの期限切れへの対応、大学の留学生の生活、就職支援担当職員との連携等
17	兵庫県行政書士会と情報交換、情報収集	不定期	大学コンソ	兵庫県行政書士会 年10回程度	企業、留学生からの多様な相談に対応するための、見解聴取や最新情報の入手

【相談窓口の現状・課題】

企業・留学生・大学から寄せられる多様な相談を総じてみると、外国人材・留学生の就職支援における根本的な課題は、「初期段階での情報・制度理解の不足」と、「個別性の高い案件の対応の複雑さ」に集約される。

企業においては、外国人材採用の進め方や在留資格制度への理解が不十分で、特に「特定技能や育成就労」と「技術・人文知識・国際業務や特定活動 46 号」の違いが整理されないまま検討が進められるケースが多く見受けられた。今後、在留資格別の業務区分が厳格化する中、企業が単独で制度変更や判断に対応することには、限界があると考えられる。また、県内企業の魅力や強みが留学生に十分に伝わっていない点も、就職・定着が進まない理由として依然残っている。

留学生においては、「日本語力・日本型就職活動の理解力・適応能力」が、日本での就職の成功の大きな鍵であることは明らかである。早期からの日本語力向上と就職活動理解に取り組んできた留学生の中には、日本人学生と同じ土俵で競い合える水準に到達している学生も増えており、目指すべき姿は具体化しつつある。

大学キャリアセンターにおいては、キャリアセンター職員と教員間での留学生の就職支援に対する熱量の差や、英語トラック留学生や卒業間近の未内定者の在留資格判断を伴う案件など、学内のみでは対応が難しい事例も増加している。さらに今後 N3・N4 レベルの留学生が大量に県内大学・専門学校に入学してくることが確実視されている。入学後の早期キャリア教育や日本語教育だけでなく、日本のルールに則った学生生活や日本の社会制度の理解を深めることの重要性も高まってくる。

加えて、日本語学校から大学、就職、就職後・定着までの支援は、各段階ごとに分断されやすく、留学生一人ひとりの成長プロセスや強みを継続的に把握・活用する仕組みが十分に整っていない点も、取り組むべき課題である。(取組みイメージは、巻末図 2 をご参照)

【課題解消と今後の展望】

上述「現状と課題」に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、大学コンソと記す）は、企業・留学生・大学をつなぐ中間支援機関として、連携を創出する役割を一層強化することで、課題解消に繋げることができると考える。具体的には、在留資格制度や業務区分に関しては、相談窓口と外国人雇用 HYOGO サポートデスクが連携した支援体制に、神戸出入国在留管理局や行政書士の支援を融合させることで、特に採用初期段階においては、企業が制度面で判断に迷わない支援体制を整備することができる。また大学コンソでは、企業でのインターンシップ受入支援に加え、留学生の事前研修や事後の振り返りを大学と連携して丁寧に行うことで、採用・定着につなげてきた実績がある。こうした一連の支援体制を継続し、今後も企業と留学生双方に寄り添いながら、地域で活躍する外国人材の育成と定着を確実に支えていく。

併せて、大学と連携した早期のキャリア教育および日本語教育への機運醸成や支援を強化し、留学生が早期の段階から主体的に就職活動の準備に取り組む環境づくりを進めることも必要である。その際、留学生が単に日本人学生に同化することを目指すのではなく、外国人としてのバックグラウンドを強みとして、日本人学生と同等に競い合えるレベルを目指すことが重要だと考える。加えて、県内で顕在化している外国籍児童の問題に関しても、市町の教育委員会が募集している外国籍児童の学習支援等に留学生が関わり、自らの経験や多文化的背景を活かして子どもたちを支えることを促進する。これによ

り、留学生は今後日本社会で生活し、自らが日本で働き、生きていく将来像をより具体的に描けるようになり、地域の一員としての自覚や責任感も育まれる。また、地域の外国籍住民を支える役割を担うことで、留学生の存在感や信頼性が高まり、結果として日本社会が求める「質の高い定着」にも繋がる事が期待できる。初期の段階では、大学コンソが実施する国際交流事業等を通じて、留学生の日本文化理解や、日本人学生との交流機会を積極的に創出することも、就職・定着支援において重要な要素である。学業や就職活動の支援に加え、日常的な交流や相互理解を深める場を設けることで、留学生の日本語力を高めたり、日本社会や地域への理解を深めたりしながら、自身の外国人としてのアイデンティティを肯定的に捉えながら活躍する基盤づくりにつなげていく。

また、大学コンソでは、兵庫県総務部教育課による「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」、労政福祉課による「大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企業理解プログラム）」、および「大学生向けWLB認定企業の魅力発信強化事業」を受託・実施の実績があり、これら大学生等の県内定着支援を目的とした既存事業にも、留学生の参加を促し、日本人学生と留学生を分け隔てることなく、企業理解・職業理解の機会を提供していく。（詳細は、巻末図3をご参照）

今後は、日本語学校から大学進学、就職、定着までの一体的な支援を進めるため、留学生の成長や経験を可視化するポートフォリオ型支援の仕組みの構築を検討するとともに、企業に対しては兵庫県の「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」の活用を促し、地域全体で高度外国人材が安心して活躍・定着できる環境を継続して整備していく。

以上、大学コンソでの相談窓口の開設から3年間の取組を通じ、外国人材の定着に向けて取り組むべき課題と今後の方向性を明確化することができた。そして、これらの課題に対して近道はなく、留学生一人ひとり、企業一社一社に丁寧に向き合い、潜在的・将来的なニーズを的確に把握することの重要性を痛感している。大学コンソはこれまで中間支援機関として、地道なヒアリングを通じて課題を可視化し、解決に向けた方向性を見定め、必要な支援先へ確実につなぐ役割を担ってきた。この「見定め」と「つなぎ」の精度こそが大学コンソが運営する相談窓口の価値であり、今後もよりその精度と感度を高めながら、地域全体で外国人材が安心して活躍し、定着することに貢献していきたい。そして、これらを大学コンソで、日本人学生や社員も巻き込んで実施していくことで、日本人の多文化共生理解も同時に促進し、日本人、外国人双方にとって、安心して暮らしていける地域づくりに繋げていきたい。

(図1)



(図2)



(図3)

